

2 事業の概要

1. 新型コロナウイルス感染症予防対策について

- 2020年2月 学園の危機管理規程に従って危機対策本部を設置。2020年度は本部会議を合計6回開催した。
- 2020年3月 米国の国家非常事態宣言発出に従い、大学では2020年度前期の昭和ポストンプログラムの中止を決定した。また、附属高等学校のカナダ留学、中学校と小学校のポストン研修も中止とした。ポストン留学必修となる大学生には昭和ポストンの教員がオンライン授業を実施した。
- 2020年4月 日本政府の緊急事態宣言発出に従い、大学と附属小学校は入学式を中止し、こども園も入園式を中止した。中学校は8日にオンラインで入学式を実施した。附属中学高等学校は4月1日から5月6日まで、小学校は4月1日から5月末までオンラインで授業を実施した。こども園は4月20日から5月末まで休園したが、休園中も応急保育は実施した。大学は教員対象のオンライン授業の研修会を実施し、専用サイトを開設して4月24日からオンライン授業を開始した。都内の主要大学では法政大学、中央大学に次ぐ早さで、前期は基本オンライン授業を継続した。附属各校も早期に準備を整えてオンライン授業を開始した。全学園で学寮研修（宿泊行事）の中止を決定した。大学生のボランティア活動は休止となり、附属高等学校の区内サービスマーケティング活動は中止となった。
- 2020年5月 複数台のサーマルカメラを購入し、附属各校の登校再開に合わせて校舎入口に設置した。大学生向けに5月15日から図書館の一部利用を再開し、6月1日からパソコン教室の一部を提供した。オンライン授業に関する教員対象、学生対象のアンケートを実施した。正門と西門に入構時の検温所を開設した。
- 2020年6月 附属校の対面授業再開に対応し、校内消毒を毎日行うとともに各種感染防止備品を設置した。
- 2020年7月 大学では中止された入学式に代わり、7月24日に「新入生の集い」を2学部ずつ3回に分けて開催した。各部門で「コロナ感染対応基本方針」と「行動規範」を制定した。附属中学高等学校は7月16日から全生徒の登校が再開された。
- 2020年8月 附属各校は緊急事態宣言による授業不足分をカバーするため、夏季休暇を短縮して授業を実施した。大学では前期を基本オンライン講義としたが、後期からは3割程度を対面で実施することを決定した。学生食堂や学生ホールでオンライン講義を受講できるよう、電源とWi-Fiを増設した。
- 2020年9月 大学の後期開始に合わせ、学生食堂と学生ホールに各種感染防止備品を設置した。
- 2020年11月 大学の特定教室にハイブリッド型講義（対面とオンライン配信同時実施が可能）用機器を整備した。9号館北面にブリティッシュ・スクール生徒用の分散登校用臨時駐輪場を設けた。
- 2020年12月 人見記念講堂とグリーンホールで使用する移動式のサーマルカメラを購入した。
- 2021年1月 日本政府が2回目の緊急事態宣言を発出したが、附属各校は通常授業を実施して大学は対面とオンラインを併用して授業を継続した。こども園は1月13日から18日まで休園したが、休園中も応急保育を実施した。
- 2021年3月 卒業式は大学、高等学校、小学校とも出席者を限定するなどして規模を縮小し、人見記念講堂で行った。こども園も規模を縮小してグリーンホールで行った。大学は4月から授業を対面7割、オンライン3割で実施する方針を決定した。普通教室を簡易ハイブリッド型教室に変更するため、春季休暇中にWebカメラと三脚を全教室に配置した。東明学林と望秀海浜学寮にサーマルカメラを設置し、全ての寮室にオゾン脱臭機を備えた。4号館地下ピアノ室にオンライン講義用の環境を整備した。

学園独自の経済的支援を大学生に給付した。

- 学習環境整備奨励金（オンライン講義準備） 4,482名/20,000円 合計89,640,000円
- 経済的支援奨学金 104名/200,000円 合計20,800,000円（通常40名枠を大幅に拡大）

2. 組織

- A. 新型コロナウイルス感染症予防対策を担当する危機対策本部を学園内に設置した。また、時差勤務・在宅勤務・分散勤務などを奨励し、感染防止と業務遂行の両立をはかった。
- B. 以下の組織変更を行った。
 - ① 理事長室と学長室の業務を統合して総長・学長室を開設した。
 - ② 学園本部財務部の経理課および管財担当を財務部業務に集約した。
 - ③ 昭和リエゾンセンターを廃止し、課題解決型学習（PBL）支援は現代ビジネス研究所に、受託研究等は教学支援センター研究支援課に業務を移管した。
- C. 下記のワーキンググループを設置して懸案課題の早期解決に取り組んだ。
 - ① 大学部門に教育支援検討ワーキンググループを設置し、「学生便覧」を紙媒体からウェブサイトに移行した。
 - ② 大学部門に助手のあり方検討ワーキンググループを設置し、業務などの見直しを検討した。
 - ③ 大学部門と法人部門間で管理系業務検討ワーキンググループを設置し業務の集約と改善に取り組んだ。特に物品購入業務を集約し、学園本部業務部庶務課の業務を改善して利用者の利便性を向上させた。
- D. 国際交流センターの職員を国際学部国際学科の留学プログラムディレクターとして兼務配置し、学科の多様な留学プログラムの運営体制を強化した。
- E. 附属中学高等学校の質の向上をはかるため、入試、教育、進路支援、ICT 導入などの専門家を配置するなど、支援体制を整備した。

3. 人事

- A. SD 活動の主な取り組みは以下の通り。
 - ① 新型コロナウイルス感染症予防対策で主要研修会が中止となるなか、日本能率協会主催研修会（延べ 16 名）、早稲田アカデミックソリューション（延べ 17 名）などに職員を派遣した。
 - ② 大学部門、法人部門の内部研修会として、所属別に全常勤職員参加型の勉強会を実施した。
- B. 所属員や部署が抱える課題の早期発見と解決、円滑な業務運営をはかるため、人事評価時に所属長と所属員との対話型コミュニケーションを必須とした。
- C. 勤務管理システムを学園外からもアクセス可能とした。過重労働を把握できるように時間集計を見直し、アラート機能追加などのシステムを構築した。
- D. 円滑な組織体制の整備と管理職の高齢化に対応するため、管理職への早期登用を行った。
- E. 附属小学校の英語教育を促進するため、ネイティブの専任講師を 1 名増員して 2 名体制とした。
- F. 人件費比率は学園の中期方針の上限 55.0% に対して 49.1% の実績となった。

4. キャンパスの整備・改修工事

2020年度に実施した主な改修工事等は以下の通り。(主要14件)

内容	金額
空調・照明機器を省エネ機器に更新(学園本部館、中高部1号館、東明学林ほか)	116,168,000円
図書館地下収蔵庫改修工事	91,509,000円
正門通りの外構整備(第3期)	64,460,000円
アクティブラーニング対応教室(1号館普通教室)	47,159,000円
中高2号館エントランス改修(第2期)	29,920,000円
8号館西棟1階改修工事(ラーニングコモンズ)	26,674,000円
10号館1階改修工事(Showa Digital Square)	24,131,000円
望秀海浜学寮寮室棟外壁補修工事	20,680,000円
ハイブリッド授業対応教室整備・視聴覚設備更新工事	19,430,000円
防犯機器更新(セキュリティ管理サーバー更新、防犯カメラ更新・新設)	14,373,000円
国際交流センター事務所拡張工事	14,025,000円
2号館内装改修工事	10,450,000円
創立者記念講堂外壁補修工事	8,697,248円
食健康科学部事務室新設工事	8,476,820円

5. 中期的な計画および事業計画の進捗

部門等	内容	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	備考	
大学院・大学	人事	大学常勤教員数	215	206	207	210	
		大学非常勤教員数	437	460	484	509	
		常勤教員割合	33.0%	30.9%	30.0%	29.2%	
		附属校常勤教員数	150	149	150	155	
		常勤職員数	196	201	202	201	
	研究	研究論文発表数	141	134	164	220	
		外部研究資金獲得件数(科研費関係)	29	32	29	35	
		外部研究資金獲得件数(その他委託研究等)	10	17	15	8	
		外部研究資金総額(円)	27,160,942	44,508,200	39,729,500	31,150,000	
	教育	常勤教員開設講座数前期(大学院・大学)	1,436	1,405	1,383	1,320	
		常勤教員開設講座数後期(大学院・大学)	1,383	1,375	1,321	1,232	
		常勤教員一人あたり担当講座数(平均)	6.7	6.8	6.9	6.1	
		常勤教員あたり学生数(大学)	25.1	27.9	28.1	29.0	
		81人以上過大クラス数(大学合計2,210講座)	155	261	280	293	
		81人以上過大クラス割合(大学合計2,210講座)	7.0%	11.8%	7.9%	8.2%	
		10人未満過小クラス数(大学合計2,210講座)	499	511	515	488	
		10人未満過小クラス割合(大学合計2,210講座)	22.6%	23.1%	14.5%	13.7%	
	国際	外部協働プロジェクト活動の件数	117	135	128	-	
		海外大学への派遣学生数	82	102	110	66	オンライン
		昭和ポストンへの留学者数(1学期以上)	331	350	377	206	オンラインと対面
		昭和ポストンへの留学者数(1学期未満)	156	194	171	29	制限による未入国者含む
		テンプル大学日本校派遣学生数	18	29	30	34	
		昭和ポストン他海外短期研修参加者数	264	268	172	149	
	キャリア	外国人留學生数	150	170	171	106	
		インターンシップ受入企業数	245	220	169	110	
		インターンシップ参加学生数	545	495	388	334	
	高等学校	大学卒業者の実就職率	96.7%	96.3%	97.0%	92.0%	
卒業生数		223	188	177	196		
他大進学者数		116 (52.0%)	97 (51.6%)	96 (54.2%)	107(54.6%)		
国公立大合格件数		2 (0.9%)	6 (3.2%)	2 (1.1%)	2(2.0%)		
医薬保健看護系進学者数		18 (8.1%)	14 (7.4%)	19 (10.7%)	26(13.3%)		
アドミッション	理系学部進学者数	24 (10.8%)	23 (12.2%)	17 (9.6%)	24(12.2%)		
	大学部門	一般入試	12,076	12,993	11,472	10,036	
		推薦その他	1,267	1,297	1,531	1,311	
		志願者総数	13,343	14,290	13,003	11,347	
		入学者数	1,482	1,637	1,507	1,534	
	中学校	志願者数	508	704	1,350	1,435	
		入学者数	194	240	218	195	
	小学校	志願者数	237	266	317	307	
		入学者数	108	111	108	119	
	学園規模	大学院・大学	5,652	5,916	5,978	6,172	
中学高等学校		1,211	1,163	1,193	1,219		
小学校		640	640	638	651		
こども園		217	221	222	222		
ブリティッシュスクール		630	681	765	765		
在籍者総数		8,350	8,621	8,796	9,029		
財務	事業活動収支差額比率 (基本金組入前当年度収支差額/事業活動収入)	0.6%	12.2%	13.4%	16.5%		
	人件費比率 (人件費/経常収入)	53.7%	50.9%	49.4%	49.1%		
	学生生徒等納付金比率 (学生生徒等納付金/経常収入)	75.2%	77.8%	76.1%	76.1%		

6. 優秀者表彰と奨学金贈呈

- ① 人見記念奨学生（大学院・大学・高等学校）：人物および成績が著しく優秀な者、模範となる実績を残した者
- ② 成績優秀奨学生（大学院・大学・高等学校）：人物および成績が著しく優秀な者
- ③ 稲穂奨励基金奨学生（大学）：芸術、スポーツなどにおいて優れた業績をあげた者または団体
- ④ 水上奨励基金奨学生（日本語日本文学科）：日本語・日本文学・書道など、日本文化と関わりのある領域で業績をあげた学生または団体
- ⑤ 熊澤育英基金奨学生（初等教育学科・健康デザイン学科・管理栄養学科） 本学大学院への進学を目指している者
創立記念式典で次の奨学生を表彰し、奨学金を贈呈した。2020年度の奨学生数は以下の通り。（合計 237名）

種別	部門	人数
人見記念奨学生	大学院	2名
	大学	41名
	高等学校	6名
	合計	49名
成績優秀奨学生	大学院	4名
	大学	134名
	高等学校	45名
	合計	183名
稲穂奨励基金奨学生	大学	4名、1団体
水上奨励基金奨学生	大学	1名
熊澤育英基金奨学生	大学	該当者なし

7. 各種媒体による紹介

本学園関係者が紹介された主なメディア数は以下の通り。

氏名	媒体
坂東真理子 理事長・総長	テレビ4・ラジオ6・WEB44・新聞23・雑誌51 イベント7・書籍2
小原奈津子 学長	WEB2・新聞2・雑誌1
川平朝清 名誉理事	表彰1・ラジオ1・WEB29・新聞13・雑誌1
平井聖 名誉学長	テレビ2
伊藤セツ 名誉教授	WEB1・雑誌4・イベント1
天野寛子 名誉教授	WEB1・新聞1・書籍1
竹山昭子 名誉教授	WEB1・新聞1
八代尚宏 副学長	WEB33・新聞18・雑誌5
英語コミュニケーション学科 小西卓三 学科長	WEB1・書籍1
英語コミュニケーション学科 山本史郎 特命教授	WEB1・イベント1・書籍3
英語コミュニケーション学科 杉橋朝子 准教授	新聞1
英語コミュニケーション学科 杉田敏 客員教授	ラジオ通年・表彰1・WEB1・イベント1・書籍1
英語コミュニケーション学科 我謝京子 客員教授	テレビ1
英語コミュニケーション学科 中野香織 客員教授	WEB30・雑誌1・イベント1

氏名	媒体
国際学科 李守 学科長	WEB1・新聞 1
国際学科 柏木厚子 教授	WEB2
国際学科 川畑由美 教授	WEB1・新聞 1
国際学科 ボルジギン 呼斯勒 教授	WEB1・新聞 1
国際学科 米倉雪子 准教授	WEB2・雑誌 1・イベント 2
国際学科 矢島宏紀 特命講師	WEB1・イベント 1
グローバルビジネス学部 武川恵子学部長	WEB2・イベント 2
ビジネスデザイン学科 今井章子 学科長	WEB1・イベント 1
ビジネスデザイン学科 飴善晶子 教授	WEB1
ビジネスデザイン学科 飛田史和 教授	WEB1
ビジネスデザイン学科 湯川抗 教授	ラジオ 5・WEB2・新聞 1・書籍 1
ビジネスデザイン学科 小西雅子 特命教授	WEB20・新聞 1・雑誌 4・書籍 1
ビジネスデザイン学科 長屋真季子 専任講師	ラジオ 1・WEB1・イベント 1
会計ファイナンス学科 岸山睦 教授	WEB2
会計ファイナンス学科 當舎緑 非常勤講師	WEB1
会計ファイナンス学科 栗国正樹 非常勤講師	WEB1
日本語日本文学科 須永哲也 准教授	書籍 1
日本語日本文学科 植松容子 専任講師	WEB1・新聞 1
日本語日本文学科 川崎昌平 非常勤講師	書籍 1
歴史文化学科 木下亮 教授	WEB1・イベント 1
歴史文化学科 田中眞奈子 准教授	テレビ 1
歴史文化学科 野口朋隆 准教授	WEB1
歴史文化学科 牧野元紀 准教授	書籍 1
歴史文化学科 松田忍 准教授	テレビ 1・WEB3・新聞 3・イベント 1
歴史文化学科 山本成生 准教授	書籍 1
歴史文化学科 山岸良二 非常勤講師	テレビ 3・イベント 1・書籍 2
心理学科 山崎洋史 教授	雑誌 1
心理学科 田中奈緒子 教授	WEB1
心理学科 池上真平 専任講師	表彰 1・WEB1・雑誌 3
福祉社会学科 吉野比呂子 特命講師	WEB3・イベント 1
現代教養学科 丸山信人 准教授	WEB2・新聞 5
現代教養学科 小川豊武 専任講師	書籍 1
初等教育学科 石井正子 教授	雑誌 1
初等教育学科 白敷哲久 准教授	ラジオ 1
初等教育学科 早川陽 准教授	書籍 1
初等教育学科 有馬篤樹 非常勤講師	WEB1
管理栄養学科 小西香苗 准教授	WEB1

氏名	媒体
健康デザイン学科 渡辺睦行 准教授	書籍 1
健康デザイン学科 海原純子 特命教授	WEB1・新聞 1
食安全マネジメント学科 梅垣敬三 教授	WEB4・雑誌 1・イベント 1
環境デザイン学科 杉浦久子 教授	雑誌 1
環境デザイン学科 田村圭介 准教授	テレビ 5・WEB5・新聞 1・雑誌 1・イベント 1
環境デザイン学科 森部康司 准教授	雑誌 1
環境デザイン学科 菊田琢也 専任講師	WEB2・イベント 1
環境デザイン学科 角田真祐子 非常勤講師	WEB1
環境デザイン学科 長谷川哲士 非常勤講師	WEB1
環境デザイン学科 橋本夕紀夫 非常勤講師	WEB1
総合教育センター 友野清文 教授	書籍 2
総合教育センター 稲澤裕子 特命教授	テレビ 17・WEB17・新聞 14
総合教育センター 緩利誠 准教授	WEB2・イベント 1
総合教育センター 白河桃子 客員教授	テレビ 1・WEB18・イベント 5
大学 全体	テレビ 2・WEB25・新聞 13・雑誌 6
大学院 全体	WEB1・新聞 1・雑誌 1
磯野彰彦 キャリア支援センター長	ラジオ 1・WEB6・新聞 2
キャリア支援センター	雑誌 2
狩野麻里 国際交流センター長	WEB2・新聞 1
国際交流センター	WEB1
藤島喜嗣 アドミッション部長	雑誌 1
学生支援課	新聞 1
学生（プロジェクト以外）	WEB1・雑誌 2
学生プロジェクト（ゼミプロジェクト含む）	テレビ 4・ラジオ 1・WEB17・新聞 9・雑誌 2
リーダーズアカデミー	WEB2・イベント 1
学生ボランティアコーディネーターENVO	新聞 1
国際交流グループ CHAWA	テレビ 1・WEB3・新聞 4
100周年事業プロジェクト	WEB1・新聞 1
現代ビジネス研究所 プロジェクト	テレビ 8・WEB15・新聞 15・雑誌 4
キャリアカレッジ	WEB1・新聞 1
熊平美香 キャリアカレッジ学院長	WEB1・新聞 1・書籍 1
光葉博物館	WEB1
近代文化研究所 佐藤美恵子 主任	雑誌 7
近代文化研究所 山田夏樹 専任講師	新聞 1
国際文化研究所 友田博通 所長	WEB1・表彰 1
国際文化研究所 チャン マーク 准教授	WEB1・表彰 1
国際文化研究所 藤澤忠盛 准教授	WEB1・イベント 1

氏名	媒体
女性文化研究所 遠藤由紀子 研究員	テレビ 1
女性文化研究所 歌川光一 研究員	イベント 1
女性文化研究所 清水直美 研究員	WEB1
女性文化研究所	雑誌 1・書籍 1
現代ビジネス研究所 大久保英男 係長	雑誌 1
現代ビジネス研究所 治部れんげ 研究員	WEB19・新聞 5
現代ビジネス研究所 西村美奈子 研究員	雑誌 1
現代ビジネス研究所 甲賀聖士 研究員	WEB5
現代ビジネス研究所 崔真淑 研究員	WEB2
現代ビジネス研究所 橋本之克 研究員	雑誌 1
現代ビジネス研究所 久原正治 特別研究員	WEB1
現代ビジネス研究所 小島慶子 特別研究員	WEB1・イベント 1
附属昭和小学校 中山光子 副校長	WEB1
昭和小学校	WEB3・新聞 1
附属昭和中学校・高等学校 真下峯子 校長	WEB5・新聞 3・雑誌 1・イベント 1
附属昭和中学校・高等学校 粕谷直彦 教頭	WEB1
附属昭和中学校・高等学校 玉井頌子 教諭	テレビ 1・WEB1
附属昭和中学校・高等学校 堂坂愛 養護教諭	テレビ 1
附属昭和中学校・高等学校	WEB6・新聞 1・雑誌 1

教育目標

建学の精神や理念に基づき、グローバル社会で主体的に役割を担える女性の育成を目的とする。在学中に次の力を高めることを教育目標としている。

[知識・技能] 教養と専門知識・技能を身につけ社会に貢献する力

[自主・自律] 主体性をもって挑戦し最後までやり遂げる力

[協働・調和] 自らに誇りを持ち多様な人々と協働する力

1. 将来計画

A. 学部・学科の設置

生活科学部から環境デザイン学科を分離し、環境デザイン学部環境デザイン学科（入学定員 210 名）を設置した。

B. 2021 年度学部名称変更の準備

2021 年度に生活科学部を食健康科学部に名称変更する届け出を行った。

C. 2021 年度大学院 1 年制コース開設の準備

生活機構研究科生活文化研究専攻と福祉社会研究専攻に、新たに社会人対象の 1 年制コースを開設した。また、福祉社会研究専攻の収容定員増の届け出を行った。

2. 大学のグローバル化

A. テンプル大学ジャパンキャンパス (TUJ) との連携

- ① TUJとのダブルディグリー・プログラムがスタートした。第1期生4名が2020年9月から2年間の予定で留学を開始した。TUJの単位互換プログラムはオンラインも含めて授業履修および科目等履修を合わせて延べ30名となった。
- ② 短期集中型の国際共修授業として、TUJと人間文化学部歴史文化学科の共同授業（コミュニティアート）を実施し、本学から20名の学生が参加した。多くの交流プログラムはオンラインで実施されたがTUJ教員が本学で講演し、本学教員がTUJで講演するなど全学的に交流機会が増えた。

B. オンラインプログラムの開発

- ① 海外渡航が制限されて留学ができない状況が続くなか、単位認定を伴うオンラインプログラムを積極的に開発し、延べ 560 名の学生が参加した。
- ② 昭和ポストンでは、2020 年度後期に 15 週間のオンラインプログラムを開発し、英語コミュニケーション学科を中心に 206 名の学生が参加した。ポストン教員によるライブ形式での授業を中心に、英語力の高い学生用の American College Readiness Program (ACR)や、Student Service 担当によるアクティビティなど、オンラインでも多様なプログラムを実施できた。
- ③ 前年度から留学中の学生は、2 月から 3 月に緊急帰国したが、一部の学生はオンラインで留学を継続した。また、国際学科の上海交通大学およびソウル女子大学のダブルディグリー・プログラムやその他語学強化プログラムも、協定校の協力の後期はオンラインで授業を実施し 82 名が参加した。
- ④ 夏季および春季の短期プログラムも、昭和ポストンや協定校で新たにオンラインプログラムを実施し、合計 14 プログラム延べ 178 名が参加した。
- ⑤ 毎年韓国・誠信女子大学、中国・上海外国語大学と共同実施している日中韓プログラムも、11 月 28 日から 12

月 12 日までの週末にオンラインで実施した。各大学から合計 30 名の学生が参加した。

C. 特別留学生の受け入れ

協定校の交換留学生や他大学からの訪問留学生が参加する Semester プログラムとして、Academic Program（日本語上級）と Intensive Japanese Language Program（日本語中級）を実施した。留学生の多くが来日できなかったため、オンライン参加者も含めて前期が 4 か国 15 名、後期は 3 か国 9 名の参加に止まった。

D. Global Network

年度末時点で Global Network の登録学生数は 1,101 名だった。学生グループ Chawa が主催する交流イベントは、オンラインを含めて延べ 132 名の留学生と 221 名の日本人学生が参加した。10 月 10 日に実施した日本経済新聞社主催「池上彰と考える東京の未来」では、Chawa のメンバー 2 名が登壇し活動内容を紹介した。

E. 海外協定校との連携

イタリア・ローマサピエンツァ大学と新規に交流協定を締結したほか、協定校との連携を強化するために国際学部国際学科に留学プログラムディレクターを配置して留学準備教育を強化した。

F. ダブルディグリー・プログラム

中国・上海交通大学ダブルディグリー第 4 期生 8 名、韓国・ソウル女子大学ダブルディグリー第 1 期生 1 名が全課程を修了して両大学の学位を取得した。

G. 講演会・特別講義の実施

海外協定校等から研究者を招聘して、オンラインによる特別シンポジウムを開催した。

① 2021 年 2 月 5 日「戦争協力とルポルタージュ」

講演者：イタリア・ローマサピエンツァ大学 ステファノ・ロマニョーリ教授、

② 2021 年 2 月 20 日「第 4 回 Women Can Change the World」

講演者：誠信女子大学 楊普景 総長、ケンブリッジ大学ニューナムカレッジ リソン・ローズ 学長、ほか

H. 外国人留学生との交流プログラム

① 外国人留学生の学習支援と学生の異文化交流を目的に、対面やオンラインで交流プログラムを実施した。

② 学習支援活動では、日本語チューター制度を延べ 17 名の留学生が利用し、学習支援のピアサポーター制度には学生延べ 7 名と留学生延べ 7 名が活動した。

③ 留学生との交流プログラムでは、日本語会話パートナーで延べ 35 組の留学生と活動した。

④ コロナ禍の中、新たなプログラムとして、協定大学の在籍生とオンラインで会話練習を行う Language Exchange Partner Program (LEPP) を開発し、韓国の淑明女子大学と昭和ポストンそれぞれで学生募集を行い、延べ 41 組の外国人学生と活動した。

3. 教育

A. 教育の質的転換

- ① 全学科で体系的な教育を行うため、ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーに基づくカリキュラムツリーを作成した。科目の領域や段階性・順次性を視覚化してウェブサイトで公開した。また、両ポリシーに基づくカリキュラムが適切かを検証するシステムを構築し、PDCA サイクルを回せるようにした。
- ② 教育改善に向けて、入学者累積 GPA や科目別平均点に関する教学 IR データを収集・分析し、改善の方向性を示しながら学科にフィードバックした。
- ③ 学習経験・学習時間調査を実施し、結果および経年変化を分析し、各学科にフィードバックした。また、4年間同様の調査を継続したことから、入学時点と4年次との比較を行い、教育効果を検証した。
- ④ 学生の語学力強化と語学力に関する到達目標についてワーキンググループで定め、目標達成のためのアクションプランを制定した。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症予防対策に対応し、オンライン授業を導入した。

B. 学習支援・キャリア教育

リーダーズアカデミー（オナーズクラス）

各学科の2・3年生を中心に31名が参加し、「水」をテーマにプロジェクト活動に取り組んだ。当初予定から大幅にプログラムを変更し、オンラインのWeb会議システムなどのアプリケーションを活用して実施した。

学生チームの発表テーマ（7テーマ）

水×プラチーム	変えてみせます！みんなの意識～現役 JD が教える、オシャレから入るエコ活～
水×国際チーム	100人の村だったら水編～世界の水問題と向き合う～
水×防災チーム	ミズカラ（水から×自ら）始める意識改革
水×アートチーム	廻～五感で楽しむアートを通じて水の魅力を知ろう～
水×健康チーム	水と健康～みんなの不調、水で解決できます～
水×銭湯チーム	若者よ、銭湯に集まれ！銭湯のこんなところ知ってる？
水×和食チーム	お米を食べると、水問題が解決！？現代の若者に伝えたいこと

外部から招へいた講師とテーマは次の通り。（1名）

講師	テーマ
アクアスフィア・水教育研究所 代表 橋本淳司氏	世界と日本の水事情

C. FD 活動

① アンケート

受講者数10名以上の全授業科目を対象に授業改善アンケートをオンラインで実施した。

アンケート結果をもとに担当教員が授業改善報告書を作成し、学内サイトに掲載した。各学科とセンターが作成した学科別授業改善報告書は大学ホームページに掲載した。

大学院はカリキュラム、授業、研究環境を評価するFDアンケートを全正規学生に実施した。アンケート結果を各研究科教授会で報告し、専攻ごとの改善報告書を大学ホームページに掲載した。

② FD 講演会

開催日	テーマ・講師
«オンライン実施» 6月17日 16:30～17:30 参加者数：210名	テーマ：「After コロナを見据えた学びを求めて」 講師：平井 聡一郎 氏（株式会社情報通信総合研究所 ICTリサーチコンサルティング部 特別研究員）

③ FD サロン

開催日	テーマ・発題者
«オンライン実施» 10月7日 15:00～16:00 参加者数：約80名	テーマ：ICT利活用・オンライン授業作り ○ 第1グループ タイトル：「オンデマンド形式による実験・資格授業の老例」 発題者：管理栄養学科 榎田和彌 専任講師 ○ 第2グループ タイトル：「講義型授業（大人数）の場合の実践例」 発題者：ビジネスデザイン学科 長屋真季子 専任講師 ○ 第3グループ タイトル：オンライン授業における学生間コミュニケーションについて 発題者：英語コミュニケーション学科 カーリン清佳 専任講師 ○ 第4グループ タイトル：オンライン講義での演習授業の実例 発題者：環境デザイン学科 三星安澄 特命講師

④ 新任教員研修

建学の精神・理念を踏まえ、教育の特色や制度について理解を深めることを目的に新任教員研修を実施した。

開催日	主なテーマ
3月27日 13:00～15:50 参加者数：24名	1. 本学のFD活動について 2. 教学全体にかかわる取り組みについて 3. 学生の進路・キャリア支援体制について 4. 本学の入試・学生募集等について 5. 学生支援・クラス運営について 6. 国際交流・留学について 7. 本学の研究支援について 説明者：FD推進委員長、教務部長、キャリア支援部長、アドミッション部長、学生部長、副学長（グローバル推進担当）、研究担当副学長

⑤ 学科・センター内FD

A. 学科・センター内FD

教員の実践的指導力の向上、ならびに、教育活動の組織的改善を目的に学科・センター内FDを行った。前期に各学科・センターで重点目標と実施計画を立案し、授業公開や意見交換、勉強会などを実施し、年度末には結果報告を行った。学科・センター内FDは学内で公開し、各学科のFD活動の現状を把握・共有した。

B. 年度末ピアラーニングFD

オンライン授業の充実を図るため、年度末に学科・センター内でピアラーニングを実施してノウハウやスキルを共有した。

⑥ オンライン授業充実に向けたFD

A. オンライン授業勉強会

開催日	テーマ・発題者
≪オンライン実施≫ 5月20日 16:30～17:30 参加者数：約180名	テーマ：「苦勞しながらも対面授業に近づけようとする努力と工夫 ～学生の反応や声も踏まえながら～」 発題者：会計ファイナンス学科 関 憲治 教授、 会計ファイナンス学科 高木俊雄 准教授

B. オンライン授業事例紹介 総視聴数：延べ約1,200回

公開日 (動画等コンテンツ配信)	テーマ・講師
4月22日	テーマ：「初めてのオンライン授業に向けて」 講師：英語コミュニケーション学科 井原奉明 教授
5月26日	テーマ：「オンライン授業をやってみて」 講師：初等教育学科 鈴木 円 教授
5月29日	テーマ：「ビジネスデザイン学科前田の講義形態について」 講師：ビジネスデザイン学科 前田純弘 教授
6月1日	テーマ：「オンライン授業 私なりの工夫」、「1年生対応 歴史のやり方」 講師：歴史文化学科 松田 忍 准教授
9月25日	テーマ：「ラジオ講座式オンライン授業の試み」 講師：総合教育センター 森本直子 准教授
1月13日	テーマ：「後期ハイブリッド型授業の実践事例」 講師：総合教育センター 武藤麻香 特命講師
2月3日	テーマ：「ハイブリッド実験」 講師：管理栄養学科 海老沢秀道 教授

C. オンライン授業準備講習会

開催日	テーマ・説明者
2月15日 13:30～14:30 2月16日 15:00～16:00 2月17日 15:00～16:00	テーマ：「オンライン授業による授業実施準備に関する講習会」 説明者：清水 裕 教務部長 ※FD推進委員会、教務部委員会、情報メディア課による共催

4. IR

A. IR 推進専門委員会の開催

大学部局長会の専門委員会として IR 推進専門委員会を設置。ワーキンググループを立ち上げて IR に関する企画・分析を進めた。(4回)

開催日	主なテーマ
9月29日	科目別平均点・GPAに関する分析
11月4日	本学 IR の方向性、科目別平均点・GPA に関する分析、年次別 GPA 相関分析 (過年度比較)
12月9日	本学 IR の方向性、入試別 GPA に関する分析
2月24日	2021 年度活動方針の検討

B. 学長・副学長、教務部委員会への情報提供

学科の計画通りに学修成果が得られているか、成績評価方法が適切か、教育課程は適切か等の検証を目的とし、今年度分析結果を学長・副学長、教務部委員会に報告した。(2回)

C. 研修

IR の企画や実施方法等に関する研修会を定期的に受講した。

5. 研究所

各研究所の活動は以下の通り。

A. 近代文化研究所

① 「学苑」刊行（毎月1日刊行・総論文数74〔研究ノート・研究余滴を含む〕）

内容	論文数
4月 第954号 英語コミュニケーション学科紀要	6
5月 第955号 総合教育センター・国際学科特集	3
6月 第956号 初等教育学科紀要	6
7月 第957号 環境デザイン学科紀要	4
8月 第958号 普通号	6
9月 第959号 近代文化研究所紀要	7
10月 第960号 普通号	6
11月 第961号 資料紹介特集	5
12月 第962号 生活科学部紀要	5
2021年1月 第963号 日本語日本文学科紀要	7
2月 第964号 人間社会学部紀要	9
3月 第965号 普通号	10

- ② ブックレット 近代文化研究叢書 刊行
 近代文化研究叢書14『「ドヤ街」から読む「あしたのジョー」』（山田夏樹著：96頁・300部）
 近代文化研究叢書15『国会議事堂の誕生—仮議事堂からの5代にわたる建築史（1886～1936）』（堀内正昭著：164頁・300部）

- ③ 現代教養学科との共催シンポジウムの開催（2021年2月5日実施）
 2020年度 海外協定校交流シンポジウム「戦争協力とルポタージュ」

④ 所員勉強会開催（1回）

内容	開催日
2020年度 海外協定校交流シンポジウム（現代教養学科）共催の検討、所員間の研究分野の交流をはかる勉強会	9月1日

B. 女性文化研究所

① 研究会開催（2回）

内容	開催日
「Discourses of normality, the demarcated life path, and contemporary Japanese fiction: Kawakami Hiromi, Motoya Yukiko and Murata Sayaka」 報告者：Laura Clark（坂東フェローシップ招聘 女性文化研究所特別研究員）	11月27日
「研究員・特別研究員研究合同研究報告会」	2月9日

- ② 現代ビジネス研究所・国際交流センターとの共催シンポジウムの開催（2021年2月20日実施）
「第4回 Women Can Change the World -女性は世界を変える」

- ③ 昭和女子大学女性文化研究賞・昭和女子大学女性文化研究奨励賞（坂東眞理子基金）の顕彰（2名）

第12回昭和女子大学女性文化研究賞 (坂東眞理子基金)	黒岩容子氏（弁護士・早稲田大学比較法研究所招聘研究員） 『EU 性差別禁止法理の展開：形式的平等から実質的平等へ、更に次のステージへ』
第12回昭和女子大学女性文化研究奨励賞（坂東眞理子基金）	歌川光一氏（聖路加国際大学院看護学研究科准教授） 『女子のたしなみと日本近代：音楽文化にみる「趣味」の受容』

- ④ 刊行物(4点)

『女性文化研究所 Newsletter』No.75

『女性文化研究所紀要』第48号

『女性文化研究叢書 女性リーダー育成への挑戦：昭和女子大学創立100周年記念出版』

『インタビュー・レポート 「優良企業」13社の女性管理職・リーダーの育成とリーダーシップスタイル』

C. 国際文化研究所

- ① 開催行事（5回）

タイトル（開催場所）	内容
国際シンポジウム主催 「溥儀とその時代：東アジア・アメリカ・ヨーロッパからのアプローチ」（昭和女子大学）	左記テーマで、関係諸国に所蔵されている膨大な多言語の史料を統合し、歴史、社会、政治、文化などの諸分野の最新の研究成果を展望。コロナ禍のためオンライン参加も含めシンポジウムを開催。約100名が参加した。
展覧会&シンポジウム主催 「失われたクメール美術」（昭和女子大学）	「カンボジアのクメール美術を基にした美意識の再考を試みるプロジェクト」カンボジアから50作品を取り寄せ、展覧会を開催。コロナ禍でオンラインを活用し、直接鑑賞とリモート鑑賞で作品展示。同時に左記シンポジウムを開催した。
ドンラム村国家文化財指定 15周年祭「女性リーダー達の役割」（ハノイ）	日本で研修を受けた女性リーダー達が、文化財保存地区で可能な女性の衣食の活動を実演し試着や試食という形で披露した。その内容をオンラインで公開し、それらの商品流通を可能とする加工技術を昭和女子大学に協力要請した。
国際シンポジウム共催 「文化財保存と活用における女性の役割」（ホイアン）	ベトナム国ホイアン市にドンラム村・カイペーから女性リーダー達を集め、本学が共催し「文化財保存における女性の役割」について、ホテル経営・レストラン経営・土産物生産販売などについて活発に議論を行った。
国際シンポジウム共催 「コロナ禍からの観光再開に備えて」（ホイアン）	ホイアンにドンラム村・カイペー関係者を集め、コロナ禍で激減した観光客の状況を報告しあい、観光再開に向けた討議が行われた。また、日本大使・JICAも参加、ホイアン日本橋の修復工事について協力の申し入れがあった。

- ② 刊行物（2件）

タイトル	内容
アジア研究報告シリーズ9 「国際的視野のなかの溥儀とその時代」（風響社）	2020年12月に行った国際シンポジウムの発表論文集。日本・中国・ロシア・台湾などの研究者が行った、11の論文を日本語訳し収録。

国際文化研究所 発行 蒙文学会「丙寅」誌	20世紀前半モンゴル語定期刊行物を整理し、各国のモンゴル研究者に活用していただくために印刷物として公開した。
-------------------------	--

③ その他（2件）

タイトル	内容
外務大臣賞	日本とベトナムとの相互理解の促進に尽力され、もって我が国と諸外国との友好親善に寄与したとして友田博通所長が受賞した。
ユネスコ表彰	文化財保存賞審査委員・出版・シンポジウム講演などの貢献に対し、ユネスコからチャン マーク准教授が表彰を受けた。

D. 生活心理研究所

① 附属心理臨床相談室の運営

「臨床心理士」および国家資格「公認心理師」養成のための大学院生実習施設であり、同時に女性と子どものための相談室として地域の専門機関のネットワークに位置づけられている。

- 相談件数（含む心理検査件数） 71件 計151回
- コロナ禍の対策：入講制限期間中（4月～5月）は一時相談室を閉室したが、入講制限解除後は感染予防対策を徹底した上で相談業務、大学院生実習を再開した。

② 公開講座

地域の方々を対象に「信頼と安心の心理学」をテーマに、同志社大学心理学部教授の中谷内一也先生を講師に招き、公開講座をオンラインで開催した。

演題	講師
信頼と安心の心理学	同志社大学心理学部教授 中谷内一也先生

③ 修了生臨床心理事例研究会

大学院修了生および大学院生の相互研鑽の場として、心理事例研究会を4回行った。

④ 刊行物

『生活心理研究所紀要』第23号を刊行した。

⑤ 昭和女子大学学術研究委員会の助成による研究

「心理支援専門職として活動する修了生のキャリア形成過程～心理支援専門職のキャリアと今後のリーダーシップ～」 研究代表者：百瀬良

⑥ 社会福祉法人共生会 SHOWA 発達相談室との連携

世田谷区発達障害児支援事業「子育てステーション世田谷・発達相談室」と密に連携し、発達相談活動をサポートした。

2020年は同相談室が行っているペアレント・トレーニングが新型コロナウイルス感染症予防対策の観点からワークショップ形式では行われずリモートで実施され、配信動画作成のサポートを行った。

E. 女性健康科学研究所

所員 21 名の研究成果の公表は以下の通り。

学術論文等 (25 件)

種別	国際学術雑誌	国内学術雑誌	紀要等
件数	11	9	5

学会発表等 (8 件)

種別	国際学会	国内学会
件数	0	8

F. 現代ビジネス研究所

① 研究助成金に採択された研究は以下の通り。(10 件)

研究プロジェクト名	学生	研究員名
ペット関連新事業のイノベーションに必要な社会変化と支援の仕組み	無	大賀 暁 研究員
地域活性化を志向した産学連携による新商品・サービス開発プロジェクトの効果と持続性の要件に関する研究	無	大嶋 淳俊 研究員
個人と組織の交渉がキャリア意識に与える影響 —日本企業におけるアイディールズ (Idiosyncratic deals) の先行要因とその影響—	無	大橋 重子 研究員
「循環型地場産業」と持続可能な地域循環型社会形成についての事例研究 —SDGs の実現に向けた地域産業政策課題の析出—	無	熊坂 敏彦 研究員
組織戦略と管理会計研究 —組織成員の行動を介して導かれる戦略変化・形成と、管理会計の活用に関する研究—	無	棚橋 慶太 研究員
大規模災害のためのローリングストックと非常食レシピ普及に関する研究 —ローリングストックマネジメントの確立と普及への施策—	参加	段谷 憲 研究員 (共同研究)
キャッシュレス決済における社会関係資本の機能 —スマホ決済における利用者の一般的信頼と決済事業者への信頼の役割—	参加	鶴沢 真 研究員
マチュア世代の働く女性のセカンドキャリア 地域社会へ活躍の場を移す際の課題	無	西村美奈子 研究員 (共同研究)
地域の加工技術とグローバル優位性 (3 年目) —燕・金沢の地場産業と台湾との連携可能性—	参加	根橋 玲子 研究員
高齢者就業拡大に向けた継続的な大学生プロジェクト活動が地域に与える影響 —活性化指標である経済効果と非経済効果による検討、新潟県糸魚川市を事例として—	参加	山本 享 研究員

② 開催イベント（9回）

イベント名	登壇者
6月20日 2019年度研究報告会	助成金採択研究員、プロジェクト参加学生
7月25日 [研究セミナー] 大学院福祉社会研究専攻共催 Webinar シンポジウム With コロナ時代の保育所経営	轟麻衣子 氏 株式会社ポピンズホールディングス代表取締役社長 坂井 徹 氏 株式会社JPホールディングス代表取締役社長 佐久間貴子 氏 株式会社ベネッセスタイルケア取締役 Merete L. Kropp 駒沢パークインターナショナルスクール校長 坂東眞理子 理事長・総長
9月19日 [研究セミナー] 大学院福祉社会研究専攻共催 Webinar シンポジウム With コロナ時代の介護施設経営	黒木悦子 氏 株式会社ニチイ学館事業統轄本部介護事業本部取締役 事業統轄本部長補佐 猪股憲一 氏 株式会社ツクイ事業本部統括 上席執行役員 坂東眞理子 理事長・総長 八代尚宏 所長・副学長 今井章子 教授
11月30日 [研究セミナー] 正規・非正規社員格差について考える ～最高裁判決を踏まえて	八代尚宏 所長・副学長
12月8日 テンプル大学ジャパンキャンパス 現代アジア研究所 (ICAS)共催 Equal Pay for Equal Work in Japan	八代尚宏 所長・副学長 本合暁詩 氏 テンプル大学国際ビジネス学科 上級准教授
2月20日 Women Can Change the World ～女性の高等教育と女子大学の将来～	Alison ROSE 氏 ケンブリッジ大学ニューナムカレッジ学長 Bo Kyung YANG 氏 誠信女子大学校長 Dace TREIJA-MASI 氏 駐日ラトビア大使館特命全権大使 坂東 眞理子 理事長・総長
3月5日 [研究セミナー] 日本的雇用・セーフティネットの規制改革	八代尚宏 所長・副学長
3月20日 [研究員ピアサポート 勉強会] 研究の進め方	宮脇啓透 研究員
3月26日 [研究員ピアサポート 勉強会] 研究計画書の書き方	大賀 暁 研究員

③ 現代ビジネス研究所 認定プロジェクト

現代ビジネス研究所と昭和リエゾンセンターのプロジェクト活動は以下の通り。(27件)

プロジェクト名	コラボレーション企業等	参加 学生数
株式会社三恵×昭和女子大学 ファーストブラ	株式会社三恵	12名
「女子大生が恋する！」井の頭線	京王電鉄株式会社	12名
アサヒ飲料×昭和女子大学 健康チャレンジ	アサヒ飲料株式会社	3名
昭和女子大学×香取市 地方活性化	千葉県香取市	3名
UBS 銀行	UBS 銀行東京支店	7名
Hult Prize Project	Hult Prize Japan	5名
株式会社和郷×園昭和女子大学 「甘トマト」ブランディングプロジェクト	株式会社和郷	5名
女子大生と男子中学生と一緒に考える	私立駒場東邦中学校	21名
鶴岡再発見～先端と伝統文化の魅力発信～*	山形県鶴岡市	6名
多気町応援プロジェクト *	三重県多気郡多気町	7名
久慈市インバウンド戦略プロジェクト*	岩手県久慈市役所	6名
美術館カフェ・プロデュース ～舞台は自然あふれる世田谷～ *	株式会社世田谷サービス公社 世田谷美術館	9名
東伊豆町魅力発信プロジェクト *	静岡県東伊豆町	6名
東洋文庫 Student Internship Program *	公益財団法人東洋文庫	5名
地場産業共創プロジェクト ー産直めぐりとのコラボ商品開発ー *	株式会社産直めぐり (山形県鶴岡市)	14名
エミリーキッズラボ「AI時代に輝く力をはぐくむ」教室 開校プロジェクト	株式会社ビスタクルーズ エミリーママ事業部	20名
H (health) & B (beauty) メニューレシピの提案	株式会社テアールシーサービス	48名
ラコルベイユ・ブランドレジナンス創造プロジェクト 2020	井関産業株式会社	13名
Sanchart (サンチャート)	世田谷美術館	12名
木曾漆器デザインプロジェクト	一般財団法人塩尻・木曾地域地場産業振興センター	8名
山手線全駅模型 2020	東京都建設局	38名
JA☆ベジラボ	全国農協協同組合連合会神奈川県本部 三浦市農協協同組合、JAよこすか葉山、 百貨店玉川高島屋	23名
戦後史史料を後世に伝えるプロジェクト ー被 団協関連文書ー	特定非営利活動法人ノーモア・ヒバクシャ記憶 遺産を継承する会	17名

渋谷駅コンシェルジュ体験・インバウンド戦略立案プロジェクト(仮)	東急電鉄株式会社	15名
江戸文化が残る浅草の魅力を発信するプロジェクト(仮)	東武鉄道株式会社	6名
100年の歴史に語る、私の挑戦	株式会社メカニカル技研	20名
高級寿司店新規事業プロジェクト	有限会社 矢の根	20名

*はインターンシップ

④ ビジネススキルセミナー

ビジネススキルセミナーを開講し、企業連携活動に参加する学生の支援体制を強化した。(9回)

講座名	参加人数
全体説明会	84名
プロジェクト参加前に知っておくべきこと	65名
プロジェクトを動かす～実務で気を付けるべきこと～	54名
「地方創生」のために大学生が何をできるか	52名
マーケティング基礎と企画力・広報力を学ぶ①	45名
マーケティング基礎と企画力・広報力を学ぶ②	43名
チーム・ビルディングとコミュニケーション	40名
WEB ページのアクセス解析方法を学ぶ	29名
情報モラルとセキュリティ	28名

⑤ プロジェクト活動支援

職員ファシリテーター2名、スチューデント・アドバイザー4名を任用し、プロジェクトの運営を支援した。

⑥ 刊行物

『現代ビジネス研究所 News Letter』 Vol.13、Vol.14

『現代ビジネス研究所紀要』2020年度版(ウェブサイト)

G. 現代教育研究所

① 開催行事（4回）

行事名	実施日
リーダーズアカデミー2020：水と生きる（全30回） 成果発表会	2月9日
Co-Creative Learning Session in SHOWA 2020「共創する学び」： 水と生きる（全23回） 成果発表会	1月23日
企画公開講座「仕事をやめなくなったとき —新人保育者がぶつかる困難をどう乗り越えるか—」（乳幼児教育研究）	1月9日
秋桜祭 動画公開：人形劇『ドロシーと愉快的仲間たち』（表現教育研究） ※動画公開期間：11/21（大学秋桜祭初日）～12/31	11月21日

② グループ活動（延べ51回）

グループ名	活動内容	実施回数
理科教育研究	オンライン授業のための研修会、理科授業研修、研究報検討会等	5回
英語教育研究	読書会、動画教材作成等	5回
道徳教育研究	日本道徳教育学会第95回自由研究発表、研究会等	12回
乳幼児教育研究	企画公開講座開催、研究会等	4回
表現教育研究	秋桜祭 人形劇『ドロシーと愉快的仲間たち』実演に関する活動 子ども向けの創作物語による冊子の制作等	19回
教育課題研究	山口県内との協力校との「共創する学び」の実践と運営	3回
私学教育研究	教員研修のための学習会、教職座談会実施等	3回

③ 刊行物（3冊）

『現代教育研究所紀要』第6号

『現代教育研究所ニューズレター』第8号

『EduMate：昭和女子大学教職課程研究報』vol.5

6. 研究

A. 学術研究委員会 成果報告会の開催

学術研究委員会では、創立 100 周年に向けたブランディングとなる研究を「女性」をキーワードに進めており、2020 年度の研究活動実績及び研究成果について、3 月 5 日に成果（進捗）報告会を開催した。

B. 海外学会発表支援助成金

グローバル化推進の一環で、海外で開催される会議やシンポジウム、学会での発表に関わる諸経費の助成制度である。今年度は世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響で申請者はいなかった。

C. 科学研究費等助成事業等採択状況

① 科学研究費助成事業（新規 10 件・継続 25 件 [期間延長含む] 合計 35 件）

種別	研究課題	氏名
1 [継続] 基盤研究(B) (一般)	放射光 X 線 CT による非破壊での日本刀の体系的研究： 作刀技術解明にむけて	田中真奈子 准教授
2 [新規] 基盤研究(C) (一般)	快楽性食欲との関係性からみた抑制機能の操作による 摂食行動の変容可能性	山中健太郎 教授
3 [新規] 基盤研究(C) (一般)	言語マイノリティの医療保障のための患者の権利に 関する比較法的研究	森本直子 准教授
4 [新規] 基盤研究(C) (一般)	被虐待児と DV 被害者を対象とした母子支援体制の 評価基準の構築	野坂洋子 専任講師
5 [新規] 基盤研究(C) (一般)	認知症高齢者の自立生活支援をめざすヘルパー 経験知の検証と活用	中矢亜紀子 専任講師
6 [新規] 基盤研究(C) (一般)	食事栄養因子に基づくアラキドン酸代謝経路における 統合オミクス解析法の確立	花香博美 教授
7 [新規] 基盤研究(C) (一般)	地域コミュニティに基づくメディア・デザイン実践の 方法論に関する研究	鳥海希世子 専任講師
8 [継続] 基盤研究(C) (一般)	谷文晁一門の研究 —江戸後期の文人社会における交流を軸として—	鶴岡明美 准教授
9 [継続] 基盤研究(C) (一般)	教材開発を目指した高齢者介護施設における 新人介護人材育成のプロセスの実態調査	大場美和子 准教授
10 [継続] 基盤研究(C) (一般)	「越境による共創」で創出する中等教育カリキュラム・ オープンイノベーションの探求	緩利 誠 准教授
11 [継続] 基盤研究(C) (一般)	近代初期日本における美術・文化愛好者の再生産過程 —学校外での教習活動に着目して—	早川 陽 准教授
12 [継続] 基盤研究(C) (一般)	日本手話における複合述部の統語分析	浅田裕子 准教授
13 [継続] 基盤研究(C) (一般)	知的障害者の中長期のキャリア形成が企業活動に もたらす効果	根本治代 准教授
14 [継続] 基盤研究(C) (一般)	DOHaD 概念に基づく次世代を担う女性の出生体重と その後の体格	小西香苗 准教授
15 [継続] 基盤研究(C) (一般)	食品中のニトロ化トリプトファン生成が生体へ及ぼす 影響の解析	川崎広明 専任講師
16 [継続] 基盤研究(C) (一般)	中小食品製造企業における営業担当者の人材育成に 関する研究	清野誠喜 教授
17 [継続] 基盤研究(C) (一般)	戦後日本における世俗の慰霊空間の研究	戸田 穰 専任講師

18 [継続] 基盤研究(C) (一般)	英語母語話者の物語コーパスに基づいた慣用句を中心とした絵本教材の作成と提供	金子朝子 教授
19 [継続] 基盤研究(C) (一般)	保育所における食事援助の質向上を目指す研修ツールの開発：多職種アプローチを通して	遠藤純子 専任講師
20 [継続] 基盤研究(C) (一般)	診療・介護・障害報酬に横断的かつ統合的な財務情報および非財務情報に関する調査研究	井出健治郎 教授
21 [継続] 基盤研究(C) (一般)	異文化間コミュニケーションにおける共感：日本語母語話者と英語母語話者の会話の分析	山本 綾 准教授
22 [継続] 基盤研究(C) (一般)	ムダルニズマ絵画研究 ールシニョルとカザスを中心にー	木下 亮 教授
23 [継続] 基盤研究(C) (一般)	古・中英語期における女性聖人伝の系譜研究：Aelfric のテキストと言語を中心に	島崎里子 准教授
24 [継続] 基盤研究(C) (一般)	現代モンゴル語書きことばの形成	呼和巴特爾 教授
25 [継続] 基盤研究(C) (一般)	基礎的な包丁操作スキルを習得させるためのバイオメカニクスの根拠と教示方法の明確化	秋山久美子 教授
26 [継続] 基盤研究(C) (一般)	自閉症スペクトラムの対人社会性の解明 ー主題統覚検査の物語反応と視覚運動からー	田中奈緒子 教授
27 [継続] 基盤研究(C) (一般)	クエン酸の疲労軽減効果の客観的評価と GADD34 に着目した分子メカニズムの検証	渡辺睦行 准教授
28 [新規] 若手研究	第二言語の文法知識を運用可能とするコミュニカティブな文法練習方法の検証	大場貴志 専任講師
29 [新規] 若手研究	イノベーションの支援者と企業家の利害対立発生メカニズム：利害の経時変化への注目	三浦紗綾子 専任講師
30 [継続] 若手研究	戦後日本における「若者」を社会問題化する言説のエスノメソドロジー研究	小川豊武 専任講師
31 [継続] 若手研究	ベニコウジエキスの安全性評価：標準化および医薬品との相互作用を中心に検討	横谷馨倫 助教
32 [継続] 若手研究	我が国の小・中学校における STEM 教育普及に向けたプログラム開発と人材育成	白数哲久 准教授
33 [継続] 若手研究	貧困に起因する健康問題発症メカニズム解明とこども食堂を介した解決システム構築	黒谷佳代 専任講師
34 [新規] 国際共同研究強化(B)	「チンギス・ハーンの長城」に関する国際共同研究基盤の創成	ボルジギン呼斯勒 教授
35 [新規] ひらめき☆ときめきサイエンス	なぜ病気と食品との因果関係がわかるの？～DOHaD??ってどんな研究	小西香苗 准教授

D. 委託研究・研究助成等

企業などから委託・助成を受けた研究は以下の通り。(8件)

種別	企業等	氏名
委託研究	国立研究開発法人国立がん研究センター	黒谷佳代 専任講師
共同研究	坂元醸造株式会社	飯野久和 教授、 榊田和彌 専任講師
共同研究	国立研究開発法人理化学研究所	川崎広明 専任講師
共同研究	特定非営利活動法人アルコイリス	竹山恵美子 准教授
共同研究	株式会社 USEN	池上真平 専任講師
研究助成	一般社団法人全国栄養士養成施設協会	石井幸江 教授
研究助成	公益財団法人三菱財団	大場美和子 准教授
研究助成	公益財団法人村田学術振興財団	ボルジギン呼斯勒 教授

7. 学生支援

A. 進路・就職支援

① 社会人メンター

本年度は動画視聴形式にするなど、全てのプログラムをオンラインで実施した。実績は以下の通り。

内容	開催回数	参加学生数
1. 個別メンタリング	申込件数 241 件	実施件数 196 件
2. メンターカフェ	6 回	118 名
3. メンターフェア	8 回	607 名
合計参加学生数		921 名

② 就職支援講座

次の支援講座を実施した。(137 回、延べ 26,245 名)

内容	実施回数	受講者数
インターンシップ関連	5 回	2,664 名
就職ガイダンス関連	4 回	3,601 名
業界研究講座・セミナー	36 回	4,052 名
職種研究講座	6 回	796 名
内定者報告会	2 回	290 名
学内合同企業説明会	17 回	1,166 名
就職活動基本講座	25 回	6,034 名
公務員・資格取得・模擬試験	2 回	205 名
基礎学力向上・SPI 対策	9 回	6,685 名
海外留学関連講座	3 回	325 名
東京新卒応援ハローワーク共催講座	2 回	33 名
その他	26 回	394 名

③ 経済同友会によるインターンシップ (6 社 7 名)

経済同友会「インターンシップの望ましい枠組み」に参加。参加 17 大学・高専 1 校が取り組んだ。女子大は本学、お茶の水女子大学、聖心女子大学の 3 大学。大学 1～2 年生が原則 1 か月以上の就業を体験する。

キッコーマン株式会社、株式会社三井住友銀行、損害保険ジャパン株式会社、住友林業株式会社、日本航空株式会社、花王株式会社の 6 社に 7 名の学生が参加した。

④ インターンシップ

合計 110 の企業・団体で 334 名の学生がインターンシップを体験した。

区分	事業所数	派遣人数
建設	7	16 名
不動産	4	13 名
製造	2	2 名
出版・印刷	5	13 名
卸売・小売	11	46 名
金融	8	25 名
ホテル・旅行・運輸	5	22 名

教育・学習支援	3	4名
医療・福祉	5	12名
経営コンサルタント・シンクタンク	4	25名
放送・広告	2	3名
情報通信	4	9名
サービス	10	31名
公的機関・団体	7	20名
自由応募・プロジェクト型・海外インターンシップなど	33	93名
合計	110	334名

B. 卒業生数と就職状況

① 学位授与者数

大学院

研究科	専攻	授与者
文学研究科	日本文学専攻 博士前期課程	0名
	英米文学専攻 博士前期課程	2名
	言語教育・コミュニケーション専攻 博士前期課程	5名
	文学言語学専攻 博士後期課程	0名
	計	7名
生活機構研究科	生活文化研究専攻 修士課程	1名
	生活科学研究専攻 修士課程	2名
	心理学専攻 修士課程	9名
	福祉社会研究専攻 修士課程	4名
	環境デザイン研究専攻 修士課程	3名
	人間教育学専攻 修士課程	0名
	生活機構学専攻 博士後期課程	1名
	計	20名
大学院計		27名

前期未修了者を含む。満期退学者は含まない。

大学

学部	学科	授与者
人間文化学部	日本語日本文学科	121名
	英語コミュニケーション学科	4名
	歴史文化学科	87名
	国際学科	10名
	計	222名
人間社会学部	心理学科	95名
	福祉社会学科	75名
	現代教養学科	101名
	初等教育学科	116名
	計	387名
生活科学部	環境デザイン学科	180名
	管理栄養学科	73名

	健康デザイン学科	77名
	食安全マネジメント学科	73名
	計	403名
グローバルビジネス学部	ビジネスデザイン学科	120名
	計	120名
国際学部	英語コミュニケーション学科	185名
	国際学科	78名
	計	263名
学部計		1,395名

前期未修了者、早期卒業者を含む。

② 卒業生数と就職状況

大学院

研究科	専攻	修了 満期退学	進学	就職	その他 進学	その他	進学者を除いた 実就職率(%)
文学	英米文学専攻博士前期課程	2名	0	1名	0	1名	50.0%
	言語教育コミュニケーション専攻博士前期課程	5名	0	2名	0	3名	40.0%
	文学言語学専攻博士後期	2名	0	2名	0	0	100.0%
	計	9名	0	5名	0	4名	55.6%
生活機構	生活文化研究専攻修士課程	1名	1名	0	0	0	-
	心理学専攻修士課程	9名	0	7名	0	2名	77.8%
	福祉社会研究専攻修士課程	4名	1名	1名	0	2名	33.3%
	環境デザイン研究専攻修士課程	3名	0	1名	0	2名	33.3%
	生活科学研究専攻修士課程	2名	0	1名	0	1名	50.0%
	生活機構学専攻 博士後期課程	2名	0	2名	0	0	100.0%
計	21名	2名	12名	0名	7名	63.2%	
大学院計		30名	2名	17名	0名	11名	60.7%

大学

学部	学科	卒業	進学	就職	その他 進学	その他	大学院進学者を除いた 実就職率(%)
人間文化	日本語日本文学科	121名	3名	101名	2名	15名	85.6%
	歴史文化学科	87名	0	81名	1名	5名	93.1%
	計	208名	3名	182名	3名	20名	88.8%
国際	英語コミュニケーション学科	189名	3名	171名	3名	12名	91.9%
	国際学科	88名	1名	78名	2名	8名	89.7%
	計	277名	4名	251名	5名	17名	91.9%
人間社会	心理学科	95名	6名	78名	2名	9名	87.6%
	福祉社会学科	75名	0	72名	1名	2名	96.0%
	現代教養学科	101名	0	99名	0	2名	98.0%
	初等教育学科	116名	0	114名	0	2名	98.3%
	計	387名	6名	364名	3名	14名	95.5%
生活科学	環境デザイン学科	180名	3名	154名	6名	17名	87.0%
	管理栄養学科	73名	4名	68名	1名	1名	98.6%

	健康デザイン学科	77名	4名	69名	1名	3名	94.5%
	食安全マネジメント学科	73名	0	69名	1名	3名	94.5%
	計	403名	11名	362名	9名	21名	92.3%
グローバル ビジネス	ビジネスデザイン学科	120名	0	113名	2名	5名	94.2%
	計	120名	0	113名	2名	5名	94.2%
大学計		1,395名	24名	1,273名	22名	76名	92.9%

③ 主な就職先

学部学科	職種	主な就職先
人間文化学部 日本語日本文 学科	総合職 準総合職	あいおいニッセイ同和損害保険、がん研究会、北つくば農業協同組合、重松製作所、清水建設、昭和信用金庫、進研アド、総合警備保障、千葉銀行、中央労働金庫、日本ハムマーケティング、武蔵野銀行、明治安田生命保険 など
	一般事務職	NECキャピタルソリューション、栗田工業、佐川急便、住商建物、西武信用金庫、戸田中央医科グループ、日本調剤 など
	営業職	住友生命保険、第一生命保険、トヨタモビリティ東京 など
	販売・サービス	パナソニック など
	システムエンジニア	東計電算、三井E&Sシステム技研 など
	教員	東京都、神奈川県横浜市 など
	公務員	東京都大田区、埼玉県杉戸町、栃木県那須烏山市 など
人間文化学部 歴史文化学科	総合職・準総合職	イオングローバルSCM、クリエイトエス・ディー、クレディセゾン、ジェイアール東日本物流、東京ベイ信用金庫、東芝エレベータ、日本道路交通情報センター、マイナビ、三井倉庫ビジネスパートナーズ、ヤマダホールディングス など
	一般事務職	アートコーポレーション、郡山文化・学び振興公社、TDK、東京三協信用金庫、東京都保健医療公社、日本ハウズイング、プレステージ・インターナショナル、マイナビ など
	販売・サービス職	アインホールディングス、京王プレッソイン、タカラスタンダード、ネットトヨタ東埼玉 など
	教員	埼玉県北本市 など
	公務員	警視庁、神奈川県三浦市 など
	システムエンジニア	システナ、トランスコスモス など
国際学部 英語コミュニ ケーション学科	総合職・準総合職	朝日生命保険、佐島電機、ステート・ストリート信託銀行、テルモ、東京医科歯科大学、トランスコスモス、日本通運、東日本旅客鉄道、読売エージェンシー、楽天、良品計画、ロイヤルホテル など
	一般事務職	イー・ギャランティ、ダイキン・コンシューマ・マーケティング、TDK、三井不動産リアルティ、三菱UFJ銀行、菱電商事 など
	営業職	大塚商会、住友生命保険、第一生命保険、東海東京フィナンシャル・ホールディングス、明治安田生命保険 など
	システムエンジニア	NSD、シーイーシー など
	企画・広報	サニーサイドアップグループ など
	販売・サービス職	エルメスジャポン、ツツミ、テイクアンドギヴ・ニーズ、パナソニック、HOYA など

	教員	東京都、埼玉県、栃木県 など
	公務員	関東信越国税局、茨城県坂東市 など
国際学部 国際学科	総合職・準総合職	アートコーポレーション、オリエントコーポレーション、カインズ、共栄火災海上保険、順天堂、スタンレー電気、中央労働金庫、デンカポリマー、トランスコスモス、日新火災海上保険、日本ケミコン、東日本旅客鉄道、日立ハイテク、ビックカメラ、ファミリーマート、藤田観光、三菱食品、名糖運輸、ヤーマン、楽天 など
	一般事務職	住友電気工業、三菱UFJ銀行、ラクト・ジャパン など
	営業職	トランスコスモス、日本生命保険 など
	販売・サービス職	共立メンテナンス など
	システムエンジニア	NSD、トランスコスモス、富士ソフト など
人間社会学部 心理学科	総合職	イトーヨーカ堂、イムスグループ、カインズ、昭和信用金庫、スターツコーポレーション、中央労働金庫、東京スマイル農業協同組合、栃木銀行、日本ハウズイング、パソナグループ、マルハニチロ物流、マンパワーグループ、三井住友信託銀行 など
	一般事務職	朝日エティック、栗田工業、住友化学、住友生命保険、第一屋製パン、トランスコスモス、日本ハウズイング、三井住友トラスト・ビジネスサービス、三井不動産リアルティ など
	システムエンジニア	アルファシステムズ、クレスコ、ドコモ・データコム、リコージャパン など
	販売・サービス職	コーナン商事、ソフィーナビューティカウンセリング など
	営業職	住友生命保険、日本生命保険 など
	その他	総合警備保障 など
	公務員	東京都羽村市、埼玉県さいたま市、神奈川県小田原市 など
人間社会学部 福祉社会学科	保育士	埼玉県上尾市、小学館集英社プロダクション、日本保育サービス、ポピンズ など
	医療ソーシャルワーカー	医療生協さいたま生活協同組合、かわさき記念病院、自治医科大学附属さいたま医療センター、川崎幸病院、千葉大学医学部附属病院、船橋市立医療センター など
	言語聴覚士	千葉みなとりハビリテーション病院、東葛病院、三宿病院、横浜総合病院 など
	総合職・準総合職	アートコーポレーション、アウトソーシング、昭和信用金庫、日本年金機構、ゆうちょ銀行 など
	一般事務職	茨城県信用組合、MS & AD事務サービス、東リ など
	営業職	大塚商会、明治安田生命保険 など

	企画・広報職	東北新社 など
	システムエンジニア	富士ソフト など
	福祉職	神奈川県横浜市、静岡県静岡市、恩賜財団東京都同胞援護会、聖隷福祉事業団、多摩同胞会 など
	公務員	東京都練馬区、埼玉県杉戸町 など
人間社会学部 現代教養学科	総合職・準総合職	足利銀行、アダストリア、いちよし証券、岡三証券、共栄火災海上保険、京王観光、ジブラルタ生命保険、清水建設、ジュビターショップチャンネル、スズデン、総合警備保障、千葉銀行、テクノアソシエ、東急セキュリティ、町田市農業協同組合、山崎製パン など
	一般事務職	内田洋行ビジネスエキスパート、オリックス・ファシリティーズ、東京建物アメニティサポート、東リ、萬世電機、三井不動産リアルティ、明治安田システム・テクノロジー など
	営業職	セブーン・イレブン・ジャパン、トランスコスモス、日本生命保険、ブイキューブ など
	販売・サービス職	アデランス、アルビオン、クリナップ など
	システムエンジニア	アルファシステムズ、DTS、日本アイ・ピー・エム デジタルサービス など
	企画・広報	トランスコスモス など
	公務員	埼玉県久喜市 など
人間社会学部 初等教育学科	小学校・幼稚園教員	東京都、神奈川県、神奈川県川崎市、相模原市、横浜市、埼玉県、埼玉県さいたま市、千葉県、栃木県、茨城県、静岡県函南町 など
	保育士	東京都板橋区、江東区、品川区、渋谷区、墨田区、世田谷区、千代田区、文京区、港区、神奈川県藤沢市、大和市、埼玉県越谷市、さいたま市、千葉県船橋市、茨城県水戸市、静岡県富士宮市、小学館集英社プロダクション、日本保育サービス など
	総合職、準総合職	SMB Cコンシューマーファイナンス、高齢・障害・求職者雇用支援機構、総合警備保障、千葉銀行、ニチイ学館 など
	一般事務職	東京建物アメニティサポート など
	営業職	明治安田生命保険 など
	システムエンジニア	富士通コミュニケーションサービス など
	福祉職	東京都大田区 など
	公務員	茨城県土浦市 など
生活科学部 環境デザイン 学科	建築技術・設計職	旭化成リフォーム、朝日工業社、五洋建設、新菱冷熱工業、ダイキンエアテクノ、大東建託、大和ハウスリフォーム、大和リース、竹中工務店、東急建設、東電タウンプランニング、戸田建設、戸田ビルパートナーズ、飛鳥建設、長谷工コーポレーション、ミサワホーム など
	研究・技術職	カケンテストセンター など

	総合職、準総合職	イトーキ、小松ウオール工業、コメリ、積水ハウス、千葉興業銀行、栃木銀行、ろうきん中央機関グループ など
	一般事務職	旭化成不動産レジデンス、信越化学工業、信金中央金庫、世田谷サービス公社、東洋建設、日鉄エンジニアリング、三井不動産リアルティ、三菱ガス化学トレーディング など
	企画・広報職	トランスコスモス など
	販売・サービス職	クリナップ、サンドラッグ、タカラスタンダード、タリーズコーヒー ジャパン など
	システムエンジニア	ドコモ・データコム など
	その他	アイリスオーヤマ、オリエンタルランド など
生活科学部 管理栄養学科	栄養士・管理栄養士	東京都、東京都八王子市、神奈川県川崎市、相模原市、埼玉県ふじみ野市、千葉県船橋市、イムスグループ、エームサービス、杏林大学医学部付属病院、グリーンハウスグループ、クリエイトエス・ディー、国立病院機構、立川病院、スギ薬局、西洋フード・コンパスグループ、千葉大学医学部附属病院、戸田中央医科グループ、日清医療食品、フジ産業、LEOC など
	研究・技術職	サンデリカ、フジフーズ、三菱商事ライフサイエンス など
	総合職・準総合職	地域医療機能推進機構、デリア食品、東急百貨店、日本アクセス、PALTAC、三井食品、三菱食品 など
	一般事務職	オリックス・レンテック など
生活科学部 健康デザイン 学科	栄養士	東京都、エームサービスジャパン、西洋フード・コンパスグループ、日本保育サービス、フジ産業、LEOC など
	総合職・準総合職	あさか野農業協同組合、神奈川県厚生農業協同組合連合会、成城石井、セブンドリーム・ドットコム、高瀬物産、日本年金機構、日本ビュアフード、日本食品化工、プレナス、まいばすけっと、メフォス、生活協同組合ユーコープ、ロック・フィールド など
	一般事務職	日鉄ケミカル&マテリアル など
	営業職	協和キリン、大和冷機工業、日本生命保険 など
	販売・サービス職	アルビオン、コーセー、ポーラ など
	システムエンジニア	システナ、DNPデジタルソリューションズ など
	教員	東京都、埼玉県川越市 など
	公務員	埼玉県狭山市 など
生活科学部 食安全マネジ メント学科	研究・技術職	アース環境サービス、紀文食品、第一屋製パン、フジパングループ など
	総合職・準総合職	あいおいニッセイ同和損害保険、いなげや、いなば食品、岩塚製菓、エームサービス、カネ美食品、ケイパック、ケンコーマヨネーズ、サ

		ミット、スターゼン、全国農業協同組合連合会、東急カード、中村屋、日本ハムビジネスアソシエ、日本ピュアフード、ヒューテックノオリン、ファミリーマート、ヤーマン、理研ビタミン など
	一般事務職	正栄食品工業、水 i n g、住友電気工業、デザインアーク、ニチレイロジスティクス関東、明治安田システム・テクノロジー など
	営業職	日本生命保険 など
	販売・サービス職	神戸物産、ゴディバジャパン、日本ケンタッキー・フライド・チキン など
	システムエンジニア	明治安田システム・テクノロジー など
	公務員	神奈川県大磯町、相模原市、山形県上山市 など
グローバル ビジネス学部 ビジネス デザイン学科	総合職・準総合職	あいおいニッセイ同和損害保険、内田洋行、オリエントコーポレーション、クレディセゾン、清水建設、大成設備、千葉銀行、帝国データバンク、東映アニメーション、東京国税局、戸田建設、トラスコ中山、日新火災海上保険、日本郵便、日本マクドナルド、マイナビ、丸紅フォレストリンクス、三井不動産リアルティ、明治アドエージェンシー、明治安田生命保険、メトロアドエージェンシー など
	一般事務職	アルプスアルパイン、熊谷組、信越化学工業、住友化学、TDK、ディスコ、三菱UFJ銀行、明治安田システム・テクノロジー など
	営業職	国際航業、住友生命保険、第一生命保険、明治安田生命保険 など
	販売・サービス職	ファーストリテイリング など
	システムエンジニア	NECネクソソリューションズ、NTTデータシステム技術、NTTデータビジネスシステムズ、三井E&Sシステム技研、菱友システムズ など
	公務員	神奈川県横浜市 など

④ 主な進学先

学部名	進学先大学院等
人間文化学部	宮城教育大学大学院、法政大学大学院、昭和女子大学大学院
国際学部	東京大学大学院、早稲田大学大学院、昭和女子大学大学院
人間社会学部	上越教育大学大学院、昭和女子大学大学院、東京家政大学大学院
生活科学部	千葉大学大学院、埼玉大学大学院、順天堂大学大学院、昭和女子大学大学院

8. 地域貢献・連携活動

A. ことばの相談室

人間社会学部福祉社会学科「ことばの相談室」は、地域住民に対し以下の活動を行った。

開設日数=90日	新規相談者数=51名	延べ人数=240名
----------	------------	-----------

B. 区立小中学校との連携

教育支援ボランティアとして区内小中学校へ16名の学生を派遣した。

C. 提携教育委員会との連携

心理支援コミュニティサービスラーニングで連携する2つの行政機関と連携事業に取り組んだ。

D. 学生のボランティア活動

以下の東日本大震災被災地の継続応援活動を行った。

① 「黄色いハンカチプロジェクト」協力参加

震災の風化を防ぎ記憶を残そうと町民有志が始めた試み。3月11日にJR女川駅前に黄色いハンカチ600枚を掲げる計画へ全学的に募集し70枚のメッセージを入れたハンカチを送った。

② 「写真でつづる10年の軌跡-昭和女子大学ワークキャンプ」の展示

2月24日から28日まで、女川町役場のエントランスで写真展示を行った。

E. 輝け☆健康『美』プロジェクト

健康デザイン学科、管理栄養学科、食安全マネジメント学科を中心に全学的な取り組み「輝け☆健康『美』プロジェクト」を実施した。

学内外の健康増進活動は以下の通り。(5件)

プロジェクト名	コラボレーション企業等	参加学生数	一般参加者
H&Bメニュー提案 TUIJ コラボプロジェクト 「世界食堂」を含む	株式会社テーアールシーサービス	49名	多数
JA☆ベジラボ	JA 全農かながわ 三浦市農協協同組合 JA よこすか葉山 百貨店玉川高島屋	23名	—
宇宙食のコンセプトから作る次世代メニューの提案と実践	日本科学未来館 株式会社ノムラデベロップメント	68名	—
JA はだの及び周辺地域活性化	JA はだの	29名	—
高級寿司店新規事業プロジェクト	有限会社 矢の根	17名	—

F. 公開講座

社会人を対象に実施した公開講座は以下の通り。(6回)

講座名・講師名	開講日	受講者
災害時の心理と行動 ～ 危険性の認識・コミュニケーション・避難行動 ～ 心理学科・大学院生活機構研究科 清水 裕 教授	10月24日	35名
にわか「7人制ラグビー&車いすラグビー」ファンになろう～ 総合教育センター 稲澤 裕子 教授	11月14日	21名
黄表紙挿絵の世界をのぞこうーより楽しい浮世絵鑑賞のためにー 歴史文化学科 鶴岡 明美 准教授	11月28日	20名
長谷川町子「サザエさん」から読む戦後日本 日本語日本文学科 山田 夏樹 専任講師	12月5日	36名
簡単な日常を英語にする 会計ファイナンス学科 岸山 睦 教授	1月30日	23名
東洋文庫コレクションの世界 歴史文化学科 桃園 靖子 教授	2月6日	22名

G. 企業協働プロジェクト

企業協働プロジェクトの実績は以下の通り。(27件)

プロジェクト名	コラボレーション企業等	参加 学生数
株式会社三恵×昭和女子大学 ファーストブラ	株式会社三恵	12名
「女子大生が恋する！」井の頭線	京王電鉄株式会社	12名
アサヒ飲料×昭和女子大学 健康チャレンジ	アサヒ飲料株式会社	3名
昭和女子大学×香取市 地方活性化	千葉県香取市	3名
UBS 銀行	UBS 銀行東京支店	7名
Hult Prize Project	Hult Prize Japan	5名
株式会社和郷×園昭和女子大学 「甘トマト」ブランディングプロジェクト	株式会社和郷	5名
女子大生と男子中学生と一緒に考える	私立駒場東邦中学校	21名
鶴岡再発見～先端と伝統文化の魅力発信～*	山形県鶴岡市	6名
多気町応援プロジェクト *	三重県多気郡多気町	7名
久慈市インバウンド戦略プロジェクト*	岩手県久慈市役所	6名
美術館カフェ・プロデュース ～舞台は自然あふれる世田谷～ *	株式会社世田谷サービス公社 世田谷美術館	9名
東伊豆町魅力発信プロジェクト *	静岡県東伊豆町	6名
東洋文庫 Student Internship Program *	公益財団法人東洋文庫	5名
地場産業共創プロジェクト ー産直あぐりとのコラボ商品開発ー *	株式会社産直あぐり (山形県鶴岡市)	14名
エミリーキッズラボ「AI時代に輝く力をはぐくむ」教室 開校プロジェクト	株式会社ビスタクルーズ エミリーママ事業部	20名

H (health) & B (beauty) メニューレシピの提案	株式会社テーアールシーサービス	48名
ラコルベイク・ブランドレゾナンス創造プロジェクト 2020	井関産業株式会社	13名
Sanchart (サンチャート)	世田谷美術館	12名
木曾漆器デザインプロジェクト	一般財団法人塩尻・木曾地域地場産業振興センター	8名
山手線全駅模型 2020	東京都建設局	38名
JA☆ベジラボ	全国農協協同組合連合会神奈川県本部、三浦市農協協同組合、JAよこすか葉山、百貨店玉川高島屋	23名
戦後史史料を後世に伝えるプロジェクト ―被団協関連文書―	特定非営利活動法人ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会	17名
渋谷駅コンシェルジュ体験・インバウンド戦略立案プロジェクト(仮)	東急電鉄株式会社	15名
江戸文化が残る浅草の魅力を発信するプロジェクト(仮)	東武鉄道株式会社	6名
100年の歴史に語る、私の挑戦	株式会社メカニカル技研	20名
高級寿司店新規事業プロジェクト	有限会社 矢の根	20名

*はインターンシップ

H. せたがやeカレッジへのコンテンツ掲載(2講座)

世田谷区内6大学(国士舘大学、駒澤大学、昭和女子大学、成城大学、東京都市大学、東京農業大学)と区教育委員会が、共同で運営する生涯学習Webサイトに、本学のコンテンツを2つ新たに掲載・配信した。

コンテンツ名	講師名
「面白英語・千客万来」①～④	岸山 睦 教授
ラグビーにわかファンを楽しもう①～④	稲澤裕子 特命教授

9. 図書館

A. 蔵書数と利用状況

① 蔵書数

種別	冊数等	内訳
図書	582,548 冊	和書 503,328 冊 (うち近代文庫 79,938 冊) 洋書 79,220 冊 (うち近代文庫 202 冊)
うち電子書籍	6,414 冊	和書 5,697 冊 洋書 717 冊
雑誌	17,556 タイトル	和雑誌 16,014 タイトル (うち近代文庫 5,103 タイトル) 洋雑誌 1,542 タイトル (うち近代文庫 2 タイトル)
電子ジャーナル*	18,127 タイトル	
新聞	161 タイトル	和新聞 146 タイトル (うち近代文庫 109 タイトル) 洋新聞 15 タイトル
視聴覚資料	3,502 タイトル	

* 論文単位で提供の電子ジャーナルを除く

② 利用状況

サービス対象者	延べ入館者数	貸出冊数
大学院生	572 名	1,887 冊
学部生	13,562 名	21,380 冊
教職員	3,458 名	5,009 冊
研究所研究員	25 名	6 冊
附属校生徒	41 名	13 冊
ブリティッシュ・スクール・イン・トウキョウ昭和	11 名	1 冊
テンプル大学ジャパンキャンパス	6 名	3 冊
世田谷6大学コンソーシアム	3 名	0 冊
他校高校生	12 名	—
その他※	342 名	90 冊
合計	18,032 名	28,389 冊

※キャリアカレッジ、卒業生、退職教職員、附属校・大学の保護者など

開館日数：246 日

1 日平均入館者数：73.3 名、学生 1 人あたり貸出冊数：3.7 冊

B. 主な活動

- ① 新型コロナウイルス感染症予防対策を講じ、学生の学習・研究活動支援、教員の授業・研究活動支援のための非来館型サービスの提供に努めた。主なサービスは以下の通り。
学生、大学教員への臨時サービス（複写代行郵送、図書貸出配送）
学外からの電子資料、デジタルコンテンツ類の利用環境の整備
オンラインコンテンツおよびセルフラーニングサイト作成（図書館利用案内、蔵書検索の方法・利用案内・貴重資料展示の動画作成、ホームページへのコンテンツ公開）
- ② 他校の高校生の学習場所として夏季休暇期間に加え、土曜日に図書館を解放した。
- ③ 昭和女子大学創立 100 周年記念特別展・新収貴重資料展を全 4 回開催した。
- ④ 地下書庫と貴重書庫の集密書架設置により、収容可能冊数を約 10 万冊増やして資料の保管環境を整備した。

10. 海外研修プログラム

A. 昭和ボストン

① 2020年度秋季ボストンオンラインプログラム

プログラム名	参加人数
カリキュラム留学（英語コミュニケーション学科、国際学科）	204名
春季・秋季15週間プログラム	2名
合計	206名

② 春季ボストンオンラインプログラム

プログラム名	参加人数
昭和ボストン Extension Program	13名
ボストン実践英語入門	16名
合計	29名

B. 海外協定校ほかプログラム

① 短期オンライン研修プログラム

プログラム名	協定校国名	参加人数
UMAP-COIL Joint Program	コンソーシアム	4名
チェンマイ大学 English Plus SDGs Training Certificate Program	タイ	8名
華東師範大学 Conversational Chinese Program	中国	13名
ソウル女子大学韓国語研修	韓国	26名
クイーンズランド大学英語研修	オーストラリア	13名
ワシントン大学 英語研修 "STEP"	アメリカ	3名
東海大学 Language and Culture Program	台湾	1名
アルカラ大学春季スペイン語学研修	スペイン	1名
コロラド大学ビジネスプログラム	アメリカ	29名
上海交通大学 HSK 対策講座	中国	17名
淑明女子大学 TOPIK 対策講座	韓国	24名
バーチャル日中韓プログラム	韓国、中国	10名
合計 12 プログラム		149名

② ダブルディグリー・プログラム留学（2年間）

協定大学	国名	2019年度 開始	2020年度 開始
上海交通大学人文学院	中国	8名	14名
テンプル大学ジャパンキャンパス	日本	－	4名
合計2大学		8名	18名

※オンライン留学を含む

③ 海外協定校との交換・私費留学プログラム（1 Semester以上）※海外大学日本校を含む

協定大学	国名	派遣	受け入れ
上海交通大学	中国	7名	1名
大連理工大學	中国	－	2名
東海大学	台湾	－	2名
ソウル女子大学	韓国	－	5名
漢陽女子大学	韓国	－	1名
国民大学	韓国	－	3名
淑明女子大学	韓国	19名	1名
誠信女子大学	韓国	－	1名
ベトナム国家大学人文社会科学大学ハノイ校	ベトナム	4名	
王立ブノンペン王立大学	カンボジア	－	10名
フレーミングハム州立大学	アメリカ	1名	
ブリヤート国立大学	ロシア	－	1名
アルカラ大学	スペイン	20名	
トリノ大学	イタリア	1名	1名
テンプル大学ジャパンキャンパス	日本	30名	3名
合計15大学		82名	31名

※オンライン留学を含む

④ 協定外の海外大学との私費留学プログラム（1 Semester以上）

協定大学	国名	派遣	受け入れ
内モンゴル大学	中国	－	1名
合計1大学		－	1名

※オンライン留学を含む

教育目標

Society 5.0 が求めるのは技術革新と価値創造を遂げる人材、その成果と社会課題をつなげ新しいビジネスを創造する人材。そこで必要なのが、読解力、対話力、科学的思考力、検証・活用力、そして価値を見出す感性と好奇心、探求力。中学高等学校では、こうした力を育むことを教育目標としている。

1. 企画会の活動

企画会が文部科学省グローバル事業実行委員会、ユネスコスクール推進委員会、ICT 組織を含め、中高部の全活動を統括・管理し、教育のグローバル化を推進した。

中学 1 年生からのスーパーサイエンスコース設置準備のため授業の高度化を図り、理系分野で社会貢献する人材の育成にも取り組んだ。中学志願者数も大幅に増加した。

2. 文科省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業〔グローバル型〕に関する取組

A. グローバルプログラム

LABO 研究 4 つの研究活動を通年で実施した。(高校 1・2 年生選抜制で 32 名が参加)

LABO1 (8 名参加)	研究テーマ：次世代を担う私たちが考えるキャリアデザイン 研究指導者：上智大学 日比谷 武 特任教授 海外研修先：米国チャールストン Ashly Hall 校 (中止)
LABO2 (8 名参加)	研究テーマ：日本人のジェンダー・ギャップの研究 研究指導者：昭和女子大学 人間社会学部 伊藤 純 教授 海外研修先：フィンランド・ヘルシンキ (中止)
LABO3 (8 名参加)	研究テーマ：海外で活躍する日本人リーダーの研究 研究指導者：昭和女子大学 国際学部 米倉雪子 准教授 海外研修先：カンボジア・プノンペン (中止)
LABO4 (8 名参加)	研究テーマ：多文化共生社会とボランティアの可能生 研究指導者：昭和女子大学 グローバルビジネス学部 興梠 寛 特任教授 海外研修先：タイ・チェンライ (中止)

B. グローバルイシュープログラム (SDGs キャリア講演)

グローバルな視野を育み、将来リーダーとなれる課題解決力、キャリアデザイン力などを身につける活動である。

11 月 24 日 (火)	演題：CM 炎上から見るジェンダーバイアス 講師：白河 桃子 氏 (少子化ジャーナリスト・昭和女子大学客員教授)
12 月 14 日 (火)	演題：プレゼンテーションの仕方 講師：佐々木 順子 氏 (安川電機/三井住友信託銀行取締役 元マイクロソフト執行役)
2 月 13 日 (土) 3 月 13 日 (土)	国境なき医師団によるワークショップ テーマ：国境なき医師団 現役高校生と考える、国際人道援助 ～私たちに何ができるのか～ 講師：村田 慎二郎 氏 (国境なき医師団日本 事務局長) 白川 優子 氏 (国境なき医師団 看護師/リクルーター)

C. ローカルプログラム

サービスラーニング 地域課題の発見と解決

高校 1 年生：世田谷区をはじめとする地域でのボランティア活動を実施した。

地域が抱える課題を発見し、解決のためのアクションプランを考案した。

高校2年生：地域課題解決のためのアクションプランを策定した。

課題解決のPDCAサイクルを体験して深い実践力と地域貢献の意識を育んだ。

以下の講演会を開催した。(5回)

6月30(火)	講演「私が変わる、社会が変わる サービスラーニング」(講義動画) 講師：社会福祉法人世田谷ボランティア協会 興梠 寛 理事
10月20(火)	講演「安心安全の住みやすい街作り」 講師：明大前ピースメーカーズ 本杉 香 代表(地域協働学習支援員)
10月27日(火)	講演「生物・環境」(環境問題) 講師：世田谷区 環境政策部 竹内明彦 課長(地域協働学習支援員)
11月2日(月)	ヒアリング会「活動内容・希望活動場所等についての相談」 講師：NPO せたがや子育てネット 松田妙子 代表理事(地域協働学習支援員)
12月16日(水)	講演「世田谷区の国際施策の取り組み」 講師：世田谷区生活文化政策部国際課 松田京子課長(地域協働学習支援員)

D. 選択制国内外研修旅行(高校1年生・4か所)は2021年10月に延期とした。

E. ユネスコスクール課外授業(4回)

7月27日(月) ミネルヴァ大学ワークショップ "Minerva Japan Caravan 2020"

10月2日(金)～15日(木)「おにぎりアクションーおにぎりメッセージ作成」(BSTとの共同企画)

10月26日(月) ユネスコスクール「ヘルシンキ国際高校」との交流(オンライン)

2月11日(祝)「幸せへのルール」ワークショップ(ZOOM)

講師：堂原有美氏(「WTOC 教室から世界一周!」プロジェクト主催者)

F. スピーチ・ディベート・模擬国連の会

中学高校生約30名がメンバーとなって模擬国連やボランティア活動、英語スピーチや朗読などを中心に活動した。

昭和祭でブリティッシュ・スクール・イン・トウキョウ昭和と初の合同プレゼンテーションを実施して交流した。

“Collaborating for a Better World~ Creating a Web of Life Together~”と題し、持続可能な世界を求めて活動する両校生徒の取り組みや朗読を披露しあった。

3. 教育の質向上

A. 校内研修

講師を招聘して以下の研修会を開催した。(6回)

9月15日(火)	小論文指導のための研修会 演題：小論文 基本構造と添削の方法 講師：吉岡 友治氏(桐原書店小論文指導書籍著者)
12月1日(火)	進路指導研修会 演題：大学入試の現状 講師：井上 将岐氏(河合塾講師)
12月15日(火)	進路指導研修会 演題：進路指導実践事例 講師：伊藤 彰男氏(中高部 特任進路指導顧問)
2月24日(水)	ICT研修会 演題：Google for Education の活用について 講師：加藤 悦雄氏 (ICT コーディネーター)
3月9日(火)	授業改善研究研修会 演題：教員の仕事と授業改善 講師：宍戸 隆一氏(中高部 特任研修顧問)
3月18日(木)	新着任者研修研究発表会 新着任者から10分程度の報告会 講師：宍戸 隆一氏(中高部 特任研修顧問)

B. 授業観察

宍戸隆一特任研修顧問、校長、教頭が全ての授業を見学し、見学後面談授業の振り返りを行って授業改善について討議した。

C. 外部研修会参加

校務や教科の外部オンライン研修会に多くの教員が参加した。

4. 海外等研修プログラム

予定していた海外等研修プログラムは中止または延期とした。

5. 保護者との連携

保護者会を全3回実施した。夏季休暇中に親子面接を実施した。

保護者による学校評価アンケートを実施した。

6. 進学状況

A. 卒業生の進路

内容		人数
大学進学者	併設大学進学者	65名
	併設大学・五修生進学者	5名
	他大学進学者	96名
専門学校進学者		4名
浪人ほか		7名
合計		177名

B. 他大学合格実績

国公立	早慶上理	GMARCH	その他大学	合計
2名	21名	24名	114名	161名

教育目標

グローバルな未来に生きる子どもたちに必要な礎として、「確かな学力を育てる教育」の推進と、以下三つの目標を軸に教育活動を展開し、高い倫理観と自立心、豊かな感性も備え持った真の国際人を育てることを教育目標としている。

目あてを指して進む人 / まごころを尽くす人 / からだを丈夫にする人

1. 教育の質向上

A. 研究会参加を奨励

① 以下の校内研究・研修会を実施した。

オンライン授業作り研修会（対面とオンライン）・タブレットを活用した授業研究会（オンライン）・アプリ keynote) 研修会・全体研究会（オンライン）・外部講師（戸田市 戸ヶ崎 勉 教育長）を招いた研修会・初任者研修会（対面）

② 以下の外部研修会に参加した。

東京私立初等学校協会オンライン研修会、その他外部オンライン研修会

B. 教育実習生の受け入れ

昭和女子大学人間社会学部初等教育学科から教育実習生 1 名を受け入れた。

2. 学校活動の充実・強化

A. ICT を活用した授業

マルチメディアルームに設置した 7 台の単焦点プロジェクタを活用して、アクティブラーニングの実現や興味関心を高めながら理解を深める授業を運営した。タブレットを活用した授業運営を多様な教科で開始した。

B. 放課後の「英語で遊ぼう」を開始

1・2 年生を対象に、時短措置時の放課後に自宅からリモートで参加できる「英語で遊ぼう」を毎日配信した。

C. テンプル大学ジャパンキャンパスとの交流

テンブル大学ジャパンキャンパスの学生 3 名が英語活動の補助を行った。

D. 給食の運営

夏季休暇後から健康安全に配慮しながら週 5 日、簡易給食（パック飲料・個包装パン・カップデザート）を提供した。10 月からはパック飲料と主食、主菜・副菜、汁物、デザートを組み合わせた従来の給食を提供した。

3. 設備および備品の充実

A. ICT 環境整備

① 視聴覚室に大型プロジェクタを設置

昭和っ子の研究（探求型総合学習）報告会に備え、プロジェクタを視聴覚室の天井に設置した。

② 第 1 理科室の照明配列の変更

プロジェクタに教材を投影しやすいように照明の配列を変更した。

- B. 南側校庭の鉄棒と床マットの改修
サポーターズクラブの寄付を得て、校庭の遊具の位置を移動して鉄棒を新しいものに入れ替えた。同時に周辺の床マットを改修した。
- C. ウォータークーラーの新設
サポーターズクラブの寄付を得て、1階の図画室前に熱中症対策を兼ねてウォータークーラーを新設した。
- D. 第2理科室前に創作水槽新設
2階第2理科室前に、メダカ・アカヒレ・ヌマエビを飼育する創作水槽を新設し、児童が淡水魚を観察できる環境を整えた。
- E. 新型コロナウイルス感染症予防対策
 - ① 蛇口のハンドルを十字型からレバー型に交換
 - ② ドアのノブをレバー式に交換
 - ③ 南側校庭にテントを設営（検温忘れの児童対応、野外手洗い場）
 - ④ サーマルカメラの設置
 - ⑤ 各教室に網戸を新設
 - ⑥ 購買部を第2保健室に改修（学校で発熱した児童の隔離場所）
 - ⑦ 図書館に滅菌庫を2基設置

4. 他部署との連携

- A. テンプル大学ジャパンキャンパスからインターンシップ学生を受け入れ、英語活動を活性化した。
- B. 渋谷インターナショナルラグビークラブの活動に希望者が参加した。
- C. 6年生・5年生・2年生が、校外学習として東明学林を訪問した。

5. 広報活動

- A. 動画による学校説明会を実施した。
- B. 個別相談会をリモートで実施した。
- C. 学外の大手や個人経営の幼児教室を訪問して出前説明会を実施した。

A. 教育・保育

- ① 子どもの主体性を大切にし、自らあそび、感じ、考え、表現できる教育・保育環境を継続した。
- ② 各年齢に応じた発達段階を理解し、教育・保育プログラムを作成した。
- ③ 体育・英語・音楽・自然・造形等の特別教育の機会を継続した。
- ④ 教育・交流プロジェクトが中心となって、園内研修の充実と自己研鑽の環境を整えた。
- ⑤ こども環境あそびプロジェクトが中心となり、あそび場の充実を図った。
- ⑥ English Project が、絵本コーナーに「English book コーナー」を設置し、英語と関わる教育環境を整備した。
- ⑦ 音楽プロジェクトが中心となって5周年記念イベントを企画したが、新型コロナウイルス感染の影響で中止となり、2021年度へ引き継ぐ。
- ⑧ からだづくりプロジェクトが中心となった取り組みで、子どもたちの怪我や病気が減少した。

B. 地域貢献

- ① 新型コロナウイルス感染症予防対策により、子どもの多様な経験や交流の機会を確保できなかった。
- ② 参加希望者にあそびキットを配布し、オンラインでの保育体験を実施した。
- ③ 新型コロナウイルス感染症予防対策により、文化・芸術体験事業を中止とした。

C. 異年齢交流

新型コロナウイルス感染症予防対策により、他施設との交流を中止とした。

大学の授業として実施した講演会は以下の通り。

女性教養講座（11 講座）

① 創立 100 周年記念シンポジウム

日付	演題	内容
11月9日	女性リーダーは世界を変える 株式会社朝日新聞社共催	基調講演：リーダー像のパラダイムシフト パネルディスカッション：未来志向のリーダーとは
12月5日	必要とされる女性経営人材とその育成 パーソルホールディングス株式会社共催	基調講演 パネルディスカッション 質疑応答

② 動画配信

公開日	演題	講師
7月22日	自他尊重の自己表現アサーション 健やかな心とさわやかな人間関係のために	平木典子 氏 統合的心理療法研究所 顧問
10月1日	“外国人”との共生を考える 在日ブラジル人1世からのラブコール	アンジェロ イシ氏 武蔵大学社会学部 教授
10月1日	スポーツにおける女性の活躍の歴史と今後の課題	小笠原悦子 氏 順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科教授、女性スポーツ研究センター長
10月1日	富士山噴火と首都直下地震に備える 「大地変動の時代」を賢く生き抜く知恵	鎌田浩毅 氏 京都大学教授、地球科学者「科学の伝道師」
10月1日	これからの時代に求められる人材像 「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」 を踏まえて	北山禎介 氏 株式会社三井住友銀行 名誉顧問
10月1日	未来を持続可能にするために	国谷裕子 氏 (公財)自然エネルギー財団理事
10月1日	今の食事の選択が、あなたの未来と社会の食料供給を決める -なぜフランス文学から栄養学の実践へ?-	武見ゆかり 氏 女子栄養大学教授、農林水産省食育推進会議委員
10月1日	Society5.0に向けた日本の政策	林 芳正 氏 参議院議員
10月1日	文明の作法 世界の分解をどう食い止めるか	藤原帰一 氏 国際政治学者

A. 展覧会の開催

実施した展覧会は以下の通り。(3回)

日程	内容
10月3日～10月24日	昭和女子大学創立100周年記念 秋の特別展 「徳川将軍家を訪ねて ー江戸から令和へー」 第I部 徳川幕府を創った家康と歴代将軍
11月7日～12月5日	昭和女子大学創立100周年記念 秋の特別展 「徳川将軍家を訪ねて ー江戸から令和へー」 第II部 女性によって継がれた徳川将軍家と井関隆子日記
1月14日～3月16日	新春収蔵資料展 「日本の郷土玩具」 博物館実習I履修学生による企画展示

B. 刊行物

以下の図録などを刊行した。(4部)

- ① 昭和女子大学創立100周年記念 秋の特別展「徳川将軍家を訪ねて ー江戸から令和へー」展覧会図録
- ② 昭和女子大学創立100周年記念 秋の特別展「徳川将軍家を訪ねて ー江戸から令和へー」記録DVD
- ③ 光葉博物館報 No.23
- ④ 光葉博物館報 No.24

A. 開設講座

会員 40 社を主対象に、キャリアカレッジ・コースプログラム、セミナー・シンポジウムおよび研究会を実施した。

キャリアカレッジ・コースプログラム [オンライン実施] (全 7 コース)

コース名	開講時期と授業時数	受講者数
女性エグゼクティブコース (女性対象)	7月～12月 全6回	16名
ダイバーシティを活かすリーダーシップ養成 (男女対象)	10月～2月 全4回	17名
マネジメントステップアップ (女性対象)	上期コース：6月～9月 全7回 下期コース：10月～2月 全7回	計 34名
男性管理職ダイバーシティ研修 (男性対象)	8月 全1回	22名
女性マインドセット研修 (女性対象)	10月 全1回	13名
女性事業承継者“跡取り娘”人材育成 (女性対象)	5月～11月 全6回	8名

B. セミナー・シンポジウム [オンライン実施] (全 6 回)

実施日	テーマ	参加者数
7月16日	海外働き方事情シリーズ第4弾 北欧の働き方から学ぶ	32名
8月1日	女性の思いを叶える起業女性の思いを叶える起業 女性起業家と共に考える「成功のルール」	19名
9月10日	人生100年時代のキャリアビジョン セカンドキャリアを考える	24名
10月5日	キャリアカレッジ特別公開講演 なぜ、女性管理職は増えないのか？ その背景と理由を知り、解決のヒントを探る	68名
11月25日	女子大学生×社会人女性 オンライン大対談会 「女子大学生と共に考える『女性の活躍できる会社』とは…」	27名
2021年2月19日	ダイバーシティ経営 外国人人材とともに働くために	25名

C. 研究会

ダイバーシティ経営研究会 [オンライン実施] (全4回)

毎回25名程度が参加

開催日	テーマ
9月3日	企業戦略としてのダイバーシティインクルージョン 2030年未来の企業・社会・シナリオ 講師：熊平美香 昭和女子大学キャリアカレッジ学院長
9月15日	働き方改革とは 講師：八代尚宏 昭和女子大学副学長・グローバルビジネス学部特命教授
11月17日	ダイバーシティインクルージョンへの取り組みに関わる事例紹介 講師：ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス株式会社 島田由香 取締役人事総務本部長
1月26日	ダイバーシティがイノベーションを生む原理について考える 講師：アクサ生命保険株式会社 安淵聖司 代表取締役社長兼 CEO

A. 組織運営

- ① 社会福祉事業として、認可保育園昭和ナースリー、おでかけひろば SHIP、ほっとステイ SHIP DAY NURSERY、アフタースクールの4施設を運営した。また、公益事業として発達相談室、世田谷区立男女共同参画センターらぶらすの2施設を運営した。
- ② 2021年度からの指定管理受託に備え、川崎市男女共同参画センター運営の準備を行った。
- ③ 世田谷区所管課からの指示・要請に対応し、施設の一時利用中止（閉館・閉室など）や利用時間を短縮した。

B. 子育てステーション世田谷の運営

下記4施設は世田谷区の地域住民が保育・遊び・預かり・相談で利用できる子育て支援総合施設「子育てステーション世田谷」として運営している。

施設名	活動状況
認可保育園 昭和ナースリー	定員33名（0歳児9名、1・2歳児各12名） 昭和女子大学社会福祉学科実習生の受入れ、昭和こども園との交流などを実施。 4月20日～5月29日はコロナによる閉園に伴う縮小保育（応急の利用者に限定）。 6月1日から通常運営。
おでかけひろば SHIP	世田谷区内の子育て中の家族が集えるひろば事業。スタッフによる日常的な子育て相談、区民ボランティアによる子育て講座等を実施。 4月1日～5月31日は休室。6月1日からは定員を半数にして再開。
ほっとステイ SHIP DAY NURSERY	区民であれば理由の如何を問わず預けることができる一時保育事業。 利用者の利便性向上のため、世田谷区のweb予約システムを導入した。 4月13日（金）～5月31日は休室。6月1日～11月30日は定員を半数にして再開。 12月1日からは通常開室。
発達相談室	昭和女子大学生活心理研究所の協力で子ども（18歳未満）の発達に関する相談（通常、月3回開室）に対応した。 4・5月は閉室し電話受付のみ実施。6月からは通常開室。 保護者対象講座（ペアレント・トレーニング）は動画配信。

C. 昭和小学校アフタースクールの運営

在席児童数は159名（うちスポット利用者は37名）

昭和小学校児童およびブリティッシュ・スクール・イン・トウキョウ昭和生徒が対象の学童保育。放課後の習い事教室も縮小して実施した。

4月9日～5月22日は閉室。5月25日～9月30日までは時間短縮して再開。10月1日から通常開室。

D. 世田谷区立男女共同参画センターらぶらすの運営

世田谷区の男女共同参画拠点施設として世田谷区から運営を受託している。

講座・研修、相談、情報収集提供機能の一体活用と地域市民グループ・団体との協働・連携により、各種事業を実施。

4月1日～5月31日は閉館。女性相談等の電話相談のみ継続。6月1日～7月31日は時間を短縮して再開。研修室全室（4室）を世田谷区生活困窮者自立支援相談センターへ貸し出し。8月1日から通常開館。

E. 川崎市男女共同参画センターすくらむ21の運営準備

9月指定管理者募集に応募・提案書提出。10月プレゼンテーション・審査、内定。

12月議会承認（指定管理期間2021年4月～2026年3月）。2021年1月から引継ぎ等の準備を開始した。

施設の概要

所在地	川崎市高津区溝口2丁目20番1号（田園都市線溝の口駅徒歩8分）
規模	地上4階、塔屋1階（延べ床面積3,337㎡）
開館時間	8:30～21:30
休館日	隔月第3月曜日（2021年10月～毎月第3月曜日）、年末年始
所管	川崎市市民文化局人権・男女共同参画室